

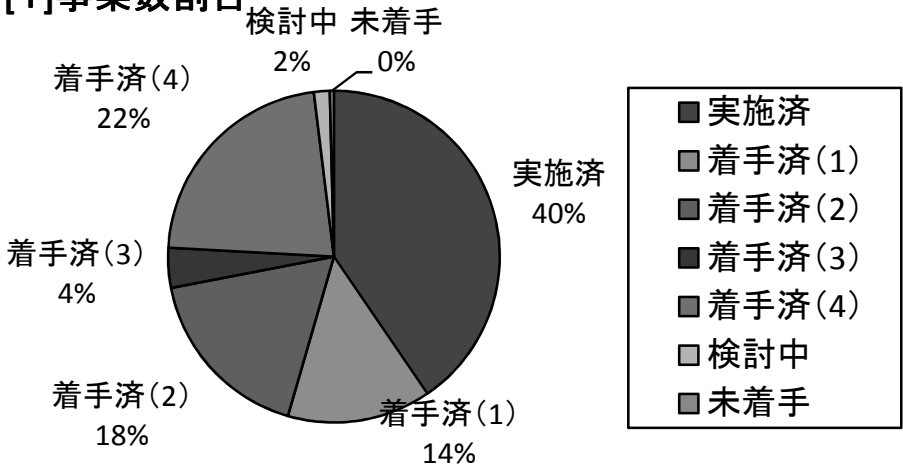
大船渡市復興計画事業の進捗状況

平成28年9月30日現在

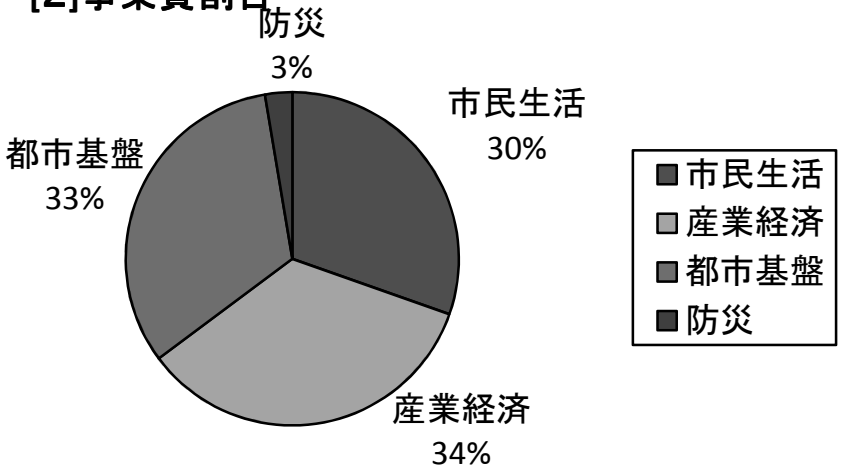
[1] 事業の進捗状況

進捗状況		事業数	
実施済		104	
着手済	(1)	148	36
	(2)		45
	(3)		10
	(4)		57
検討中		4	
未着手		1	
計		257	
整理・統合等		17	

[1]事業数割合



[2]事業費割合



※着手済の細分類

- (1) 震災前からの事業で、震災により中断後、再開し、既に軌道に乗っているもの⇒(実質的に実施済)
- (2) 震災後からの事業で、既に軌道に乗り、単年度の繰返しで、今後も継続するもの
- (3) 震災前からの事業で、震災により中断後、再開したものの、まだ完成(完了)していないもの、若しくは軌道に乗っていないもの
- (4) 震災後からの事業で、まだ完成(完了)していないもの、若しくは軌道に乗っていないもの

[2] 事業費の内訳(※現時点で把握可能な概算事業費によるものです)

復興計画の柱	全体計画 (百万円)															
	事業費	財源内訳 (百万円)					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源										
市民生活の復興	120,527	49,934	23,688	2,342	33,005	11,558	18,411	20,161	24,057	11,328	15,280	24,662	4,542	1,502	292	292
産業・経済の復興	136,475	48,385	62,122	3,473	15,866	6,629	8,104	17,748	31,181	22,134	16,041	12,535	9,806	8,477	6,475	3,974
都市基盤の復興	129,145	27,224	58,372	4,525	28,176	10,848	3,922	10,825	17,630	34,535	28,750	17,927	8,410	4,584	1,519	1,043
防災まちづくり	10,411	2,139	24	89	6,366	1,793	131	2,152	2,415	4,554	414	445	135	55	55	55
合 計	396,558	127,682	144,206	10,429	83,413	30,828	30,568	50,886	75,283	72,551	60,485	55,569	22,893	14,618	8,341	5,364
	復興計画の期間別事業費 (全事業費に占める割合)						156,737 (39.5%)			188,605 (47.6%)			51,216 (12.9%)			
(H28.3.31現在)	399,943	127,778	151,880	10,625	80,559	29,101	30,568	50,301	75,228	73,349	91,242	51,881	18,596	4,978	2,084	1,716
	復興計画の期間別事業費 (全事業費に占める割合)						156,097 (39.0%)			216,472 (54.2%)			27,374 (6.8%)			

★事業費による進捗状況(平成23年度～平成27年度)→:289,773百万円÷総事業費:396,558百万円=73.1%

※着手済事業の(1)・(2)の平成28年度以降の事業費を「0」とした場合の進捗状況=74.2%

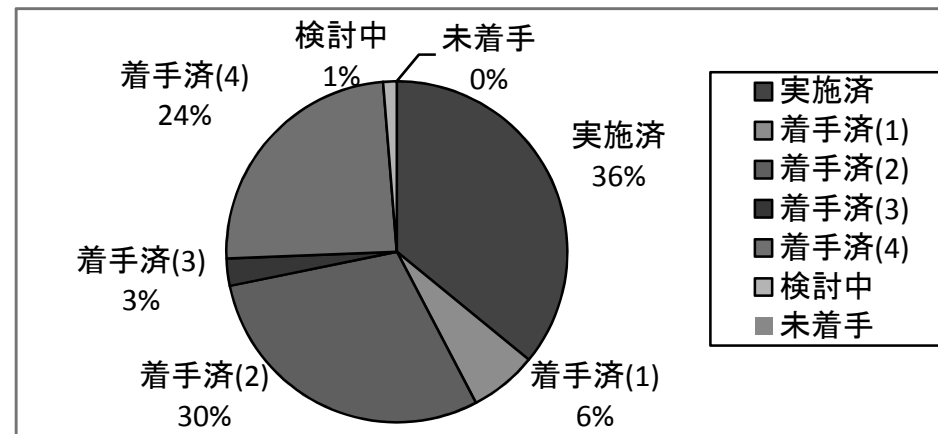
■主な事業

① 市民生活の復興	② 産業・経済の復興	③ 都市基盤の復興	④ 防災まちづくり
・災害廃棄物処理事業 4 5 8 億円	・漁港関係施設等復旧事業 (漁港施設) 7 2 8 億円	・港湾施設復旧事業 3 7 6 億円	・再生可能エネルギー導入促進事業 6 0 億円
・防災集団移転促進事業 1 9 7 億円	・共同利用漁船等復旧支援対策事業 1 1 8 億円	・土地区画整理事業 2 3 5 億円	・消防救急無線施設・設備整備事業 1 4 億円
・災害公営住宅整備事業 1 7 1 億円	・水産業共同利用施設復興整備事業 8 5 億円	・湾口防波堤復旧事業 2 0 0 億円	・防災行政無線整備事業 1 1 億円

分野別の復興状況

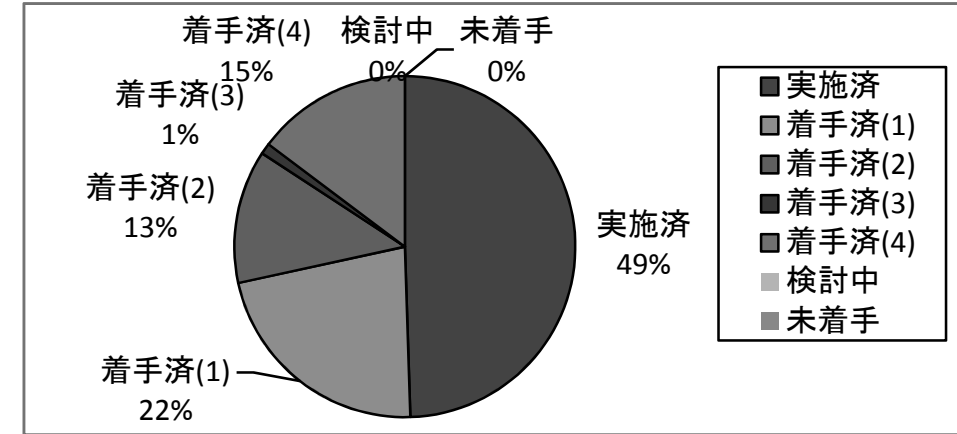
①市民生活の復興

進捗状況	事業数
実施済	28
着手済(1)	5
着手済(2)	23
着手済(3)	2
着手済(4)	19
検討中	1
未着手	0
計	78
整理・統合等	0



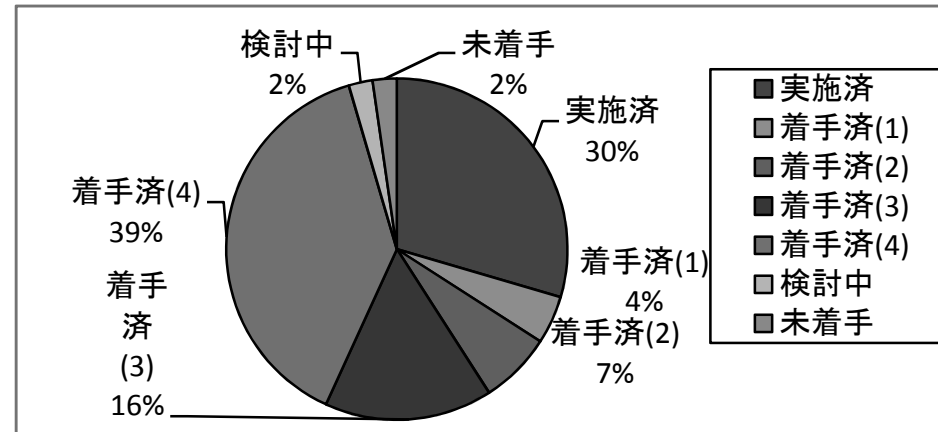
②産業・経済の復興

進捗状況	事業数
実施済	47
着手済(1)	21
着手済(2)	12
着手済(3)	1
着手済(4)	14
検討中	0
未着手	0
計	95
整理・統合等	13



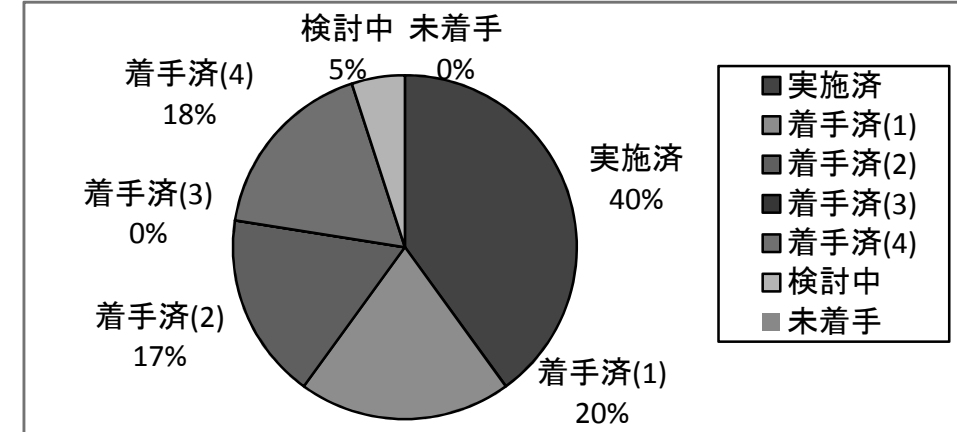
③都市基盤の復興

進捗状況	事業数
実施済	13
着手済(1)	2
着手済(2)	3
着手済(3)	7
着手済(4)	17
検討中	1
未着手	1
計	44
整理・統合等	2



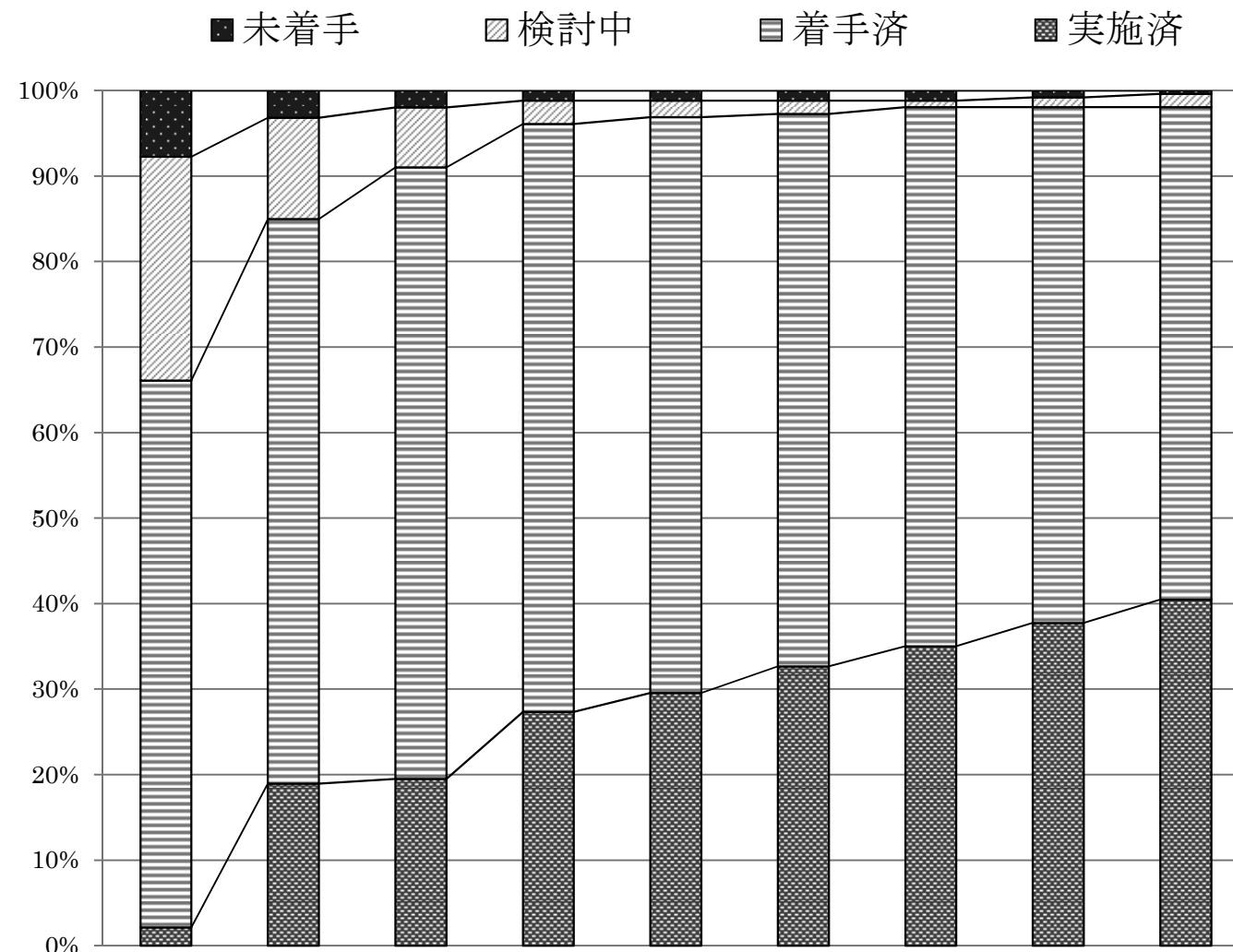
④防災まちづくり

進捗状況	事業数
実施済	16
着手済(1)	8
着手済(2)	7
着手済(3)	0
着手済(4)	7
検討中	2
未着手	0
計	40
整理・統合等	2



復興計画事業一覧

復興計画事業進捗状況



	H24.1.12		H25.3.31		H25.9.30		H26.3.31		H26.9.30		H27.3.31		H27.9.30		H28.3.31		H28.9.30	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
実施済	5	2%	48	19%	50	20%	70	27%	76	30%	84	33%	90	35%	97	38%	104	40%
着手済	149	64%	167	66%	183	71%	176	69%	173	67%	166	64%	162	63%	155	60%	148	58%
検討中	61	26%	30	12%	18	7%	7	3%	5	2%	4	2%	2	1%	3	1%	4	2%
未着手	18	8%	8	3%	5	2%	3	1%	3	1%	3	1%	3	1%	2	1%	1	0%
合 計	233	100%	253	100%	256	100%	256	100%	257	100%	257	100%	257	100%	257	100%	257	100%
整理・統合等	0		12		13		16		16		17		17		17		17	

■ 復興計画事業は、実施優先度により次の3種類に分類しています。

→ 事業番号の下に該当する表示を記載しています。

◎：緊急に実施する事業

○：急いで実施する事業

△：通常ペースで実施する事業

■ 事業区分は、次のとおりです。

H：ハード事業（施設などを整備する事業）

S：ソフト事業（サービスなどを提供する事業）

■ 復興計画策定後、新たに復興計画事業とした事業（復興計画策定時に登録していない事業）については、当該事業欄全体を網かけ表示しています。

また、当該事業のうち、前回作成時（平成28年3月31日現在）以後に登録した事業には事業番号欄に「新」、それ以外の事業については「追○」（○は番号）と記載しています。

■ 事業の進捗状況区分は、次のとおりです。

未着手：事業実施の見通しが立たないもの

検討中：事業実施に向け、準備段階のもの

着手済：事業に着手し、実施中のもの

実施済：すでに事業が終了したもの

整理・統合等：他事業との統合やその他の事情により、事業を実施しなかったもの

■ 着手済事業の細分類区分は、次のとおりです。

1 震災前からの事業で、震災により中断後、再開し、既に軌道に乗っているもの

⇒（実質的に実施済）

2 震災後からの事業で、既に軌道に乗り、単年度の繰返しで、今後も継続するもの

3 震災前からの事業で、震災により中断後、再開したもの、まだ完成（完了）していないもの、若しくは軌道に乗っていないもの

4 震災後からの事業で、まだ完成（完了）していないもの、若しくは軌道に乗っていないもの

■ 復興交付金が配分されている事業については、「復興交付金」欄に次のように記載しています。

有：基幹事業として配分されている場合

※有：効果促進事業として配分されている場合

■ 前回作成時（平成28年3月31日現在）以後における、進捗状況に係る主な変更箇所については、下線を付してあります。

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)												担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
方針① 被災者の早期の住宅再建を支援するほか、地域コミュニティの維持・形成に配慮した、安全な生活環境を確保します。																												
施策ア 被災者の事情に十分配慮しながら、個人住宅再建のための支援を行います。																												
1 △	H	応急仮設住宅維持 管理等支援事業	応急仮設住宅の補修や駐車場などの維持管理 ・市内37団地、1,801戸対象	市	H23～	着手済	4	※有	【現状】 ・施設の維持管理実施中(敷地料、街灯電気料、共用部分の光熱水費などを支出) ・一部応急仮設住宅の集会施設を整備済(復興交付金活用) ・学校敷地と民有地に立地する応急仮設住宅への新規入居は終了 ・平成26年11月14日に大船渡市応急仮設住宅の撤去・集約化計画を公表し、平成27年11月25日に計画を変更した。 ・空室: <u>726戸</u> (平成28年 <u>9月</u> 末現在) ・施設の廃止・撤去: <u>87棟</u> (<u>492戸</u>)(平成28年 <u>9月</u> 末現在) 【課題】 ・被災者の状況を十分に踏まえながら、施設を集約・撤去する必要がある	291,064		234,907		19,202	36,955	72,034	41,635	40,004	42,382	38,766	56,243							住宅公園課
2 ○	H	住宅応急修理事業	自宅の応急修理費用の一部負担により、自宅での生活を促進、支援(災害救助事業、県委託事業) ・半壊以上の被害を受けた方 ・1戸あたり52万円(上限)を負担(所得などの制限あり)	市	H23	実施済			【現状】 ・事業終了 ・交付件数452件 【課題】 ・特になし	231,462		231,462				231,462										住宅公園課		
3 △	S	住宅耐震改修補強 事業	木造住宅の耐震補強工事実施者に補助金を交付し、災害に強いまちづくりを推進 ・昭和56年以前に建築された一戸建木造住宅が対象 ・工事費の1/2、上限:60万円	市	H23～	着手済	2		【現状】 ・申請受付中 【課題】 ・今後においても、災害に強いまちづくりの手法として、本事業の周知を図る必要がある	1,851	925	462		464						1,851						住宅公園課		
4 ◎	H	埋蔵文化財調査事業	被災者の遺跡内への住宅建設などに伴う発掘調査	市	H23～	着手済	4	有	【現状】 ・自主再建及び防災集団移転促進事業に伴う住宅建設に係る試掘・発掘調査、 <u>整理事業</u> を実施中 ・ <u>平成28年度の調査状況</u> 試掘調査:実施済→ <u>1件</u> 発掘調査:実施済→ <u>1件</u> 【課題】 ・関係者で情報を共有し、スケジュールを調整しながら、効果的な事業推進を図る必要がある	253,603				190,202	63,401		14,713	13,790	63,653	72,537	88,910						生涯学習課	
施策イ 住宅の自主再建が困難な方のために、公営住宅を整備します。																												
5 ◎	H	災害公営住宅整備 事業	住宅を失った被災者を対象に公営住宅を整備 ・土地購入、用地造成、取付道路工事なども実施 ・県整備分511戸(H23～H28) ・市整備分290戸(H23～H28) 合計 801戸(整備計画戸数)	県・市	H23～H28	着手済	4	有 ※有	【現状】 《市営》 ・ <u>全22団地が完成し、21団地で入居済</u> 《県営》 ・ <u>全3団地が完成し入居済</u>	17,185,843	3,173	14,037,650	405,200	2,724,244	15,576	271,556	3,164,537	745,441	1,543,391	2,856,787	8,604,131					住宅公園課		
6 ◎	H	既設公営住宅復旧 事業	笹崎団地(4棟16戸)、山口団地(2棟12戸)が津波により滅失、沢田団地(3棟中3戸)が地震により損傷(計31戸) ・用地造成、取付道路工事なども実施 ・市営住宅を建設(30戸)	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・田中南アパート:平成25年3月に建設工事終了→入居済 ・後ノ入東団地:平成25年3月に建設工事終了→入居済 【課題】 ・特になし	584,644	445,529				139,115	36,093	548,551								住宅公園課			
施策ウ 住宅の高台移転や宅地のかさ上げなどにより、津波などの災害にあわない安全な居住環境を整えます。																												

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)												担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
									国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
7 ◎	H	防災集団移転促進事業	市	H23～H29	着手済	4	有	【現状】 ・全21地区において事業実施中 ・うち20地区(大船渡地区、峰岸地区、神坂地区、細浦地区、小細浦地区、小河原地区、梅神地区、門之浜地区、泊里地区、佐野地区、 <u>中赤崎地区の一部</u> 、清水地区、蛸ノ浦地区、田浜地区、港・岩崎地区、泊地区、浦浜南地区、浦浜仲・西地区、浦浜東・南嶺地区、崎浜地区)で団地整備工事が完了し、宅地を引渡すとともに、住宅移転費用の補助、被災跡地買取りを実施している 【課題】 ・事業の早期実施	19,715,825				17,117,226	2,598,599		386,096	2,375,742	3,834,365	<u>4,064,076</u>	<u>6,093,116</u>	<u>2,962,430</u>							復興政策課 市街地整備課
8 △	H	がけ地近接等危険住宅移転事業	市	H24～	着手済	1	有	【現状】 ・申請受付件数: <u>8件</u> (平成28年 <u>9月末現在</u>) 【課題】 ・災害に強いまちづくりの手法として、本事業の早期本格運用と適切な周知を図る必要がある	953,576	3,590	1,795	707,400	240,791		826	0		11,470	486,073	227,603	227,604					住宅公園課		
9 ○	H	漁村集落復興事業	市	H25～H28	着手済	4	有 ※有	【現状】 ・浦浜地区の集落嵩上げ工事に着手(平成26年12月契約) ・浦浜地区(上記地域を除く)及び泊地区は測量調査と設計を実施中。 <u>崎浜地区は工事着手</u> 。 ・綾里地区は1期工事完了。 <u>2期工事設計中</u> 。 【課題】 ・事業の早期実施	<u>1,052,285</u>				<u>789,213</u>	<u>263,072</u>			4,200	<u>59,664</u>	<u>280,774</u>	<u>707,647</u>							水産課	
施策工 住宅移転(市内)希望者への支援を行います。																												
10 △	S	市民相談事業	市など	H23～	着手済	1		【現状】 ・各種相談を受付中 【課題】 ・関係機関との連携により、市民ニーズの変化に対応した相談機会の確保と情報提供を図る必要がある	10,644				2,400	8,244	852	1,488	1,488	1,488	888	888	888	888	888	888	888	888	市民環境課	
11 △	S	総合的被災者相談支援事業	県	H23～H32	着手済	2		【現状】 ・各種相談を受付中(相談員のほかに各種専門家も配置) ・巡回・出張相談を適宜開催 【課題】 ・相談ニーズの変化に対応した専門家の配置 ・潜在的な需要に対応する体制の確保	53,556		53,556			5,700	8,500	4,704	4,694	4,993	4,993	4,993	4,993	4,993	4,993	4,993	4,993	市民環境課		
追1 ◎	S	被災者住宅再建支援事業	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・事業内容を拡充済(補助金額を倍増、遡及適用) ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数: <u>1,017件</u> (平成28年 <u>9月末現在</u>) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	2,952,950		984,216		1,968,734		201,000	606,450	477,000	474,500	398,000	398,000	398,000					地域福祉課		

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)											担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
追2 ◎	S	被災者住宅再建支援事業(住宅移転等敷地造成費補助金)	被災者の自力による住宅再建を支援するため、市内に一戸建ての住宅または併用住宅を建築または購入する場合の敷地造成費の一部に対し、補助金を交付 ・補助金額:敷地造成費のうち330㎡(100坪)までの工事費の1/2(上限:30万円) ・造成された宅地を購入した場合は、上記に相当する工事費の1/2(上限:30万円) ※災害危険区域内においては、建築基準を満たす場合に限る	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・事業終期年度を延長済(平成28年度→平成30年度) ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数:418件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	238,520					238,520			36,739	37,861	23,660	16,924	39,000	42,168	42,168			住宅公園課
追3 ◎	S	被災者住宅再建支援事業(住宅移転等水道工事費補助金)	被災者の自力による住宅再建を支援するため、市内に一戸建ての住宅または併用住宅を建設または購入する場合の水道工事費の一部に対し、補助金を交付 ・補助金額:市が定める基準額から算出した総額(10万円未満の場合を除く)の1/2(上限:200万円) ※災害危険区域内においては、建築基準を満たす場合に限る	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・事業終期年度を延長済(平成25年度→平成30年度) ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数:273件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	110,977					110,977			11,305	15,584	17,902	15,264	16,846	17,038	17,038			水道事業所
追4 ◎	S	生活再建住宅支援事業(復興住宅新築補助金)	住宅を滅失した被災者が、住宅の新築・購入する場合に要する費用の一部に対し、補助金を交付 ・補助金額:バリアフリー対応工事 床面積75㎡未満＝40万円 床面積75㎡以上120㎡未満＝60万円 床面積120㎡以上＝90万円 県産材使用工事 使用量10㎡以上＝20万円 使用量20㎡以上＝30万円 使用量30㎡以上＝40万円	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数:695件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	907,800		907,800					53,500	126,700	144,700	165,400	175,000	121,250	121,250			住宅公園課	
追5 ◎	S	生活再建住宅支援事業(被災住宅補修等補助金)	被災した住宅の補修・改修工事費の一部に対し、補助金を交付 ・補助金額:補修工事(半壊・一部損壊)対象工事費の1/2以内で上限30万円 改修工事 耐震改修工事費の1/2以内で上限60万円 バリアフリー改修工事費の1/2以内で上限60万円 県産材使用改修工事費の1/2以内で上限20万円	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数:716件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	552,152		552,152					135,914	62,482	42,928	26,807	45,000	119,510	119,511			住宅公園課	
追6 ◎	S	生活再建住宅支援事業(被災宅地復旧補助金)	被災した宅地の復旧工事費の一部に対し、補助金を交付 ・対象工事 のり面の保護、排水施設の設置、地盤の補強・整地、よう壁の設置・補強(旧よう壁の除去を含む)、地盤調査・設計調査費 ・補助金額:対象工事費の1/2以内で上限200万円	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・事業終期年度を延長済(平成25年度→平成28年度) ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数:328件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	541,983		541,983					154,603	75,680	64,673	41,402	70,000	67,812	67,813			住宅公園課	
追7 ◎	S	生活再建住宅支援事業(被災住宅債務利子補給補助金)	被災した住宅の再建資金を金融機関などから新たに借り入れた場合に、住宅ローンの支払い利子の一部に対し、補助金を交付 ・補助金額:支払利子相当額	市	H24～H30	着手済	4		【現状】 ・事業内容を拡充済(補助上限額の引き上げなど) ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数:559件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	1,761,082		36,978		1,724,104			12,828	441,691	411,298	349,898	305,976	119,695	119,696			住宅公園課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	事業費(千円)	全体計画					事業費(千円)												担当課
										財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
追8 ◎	S	生活再建住宅支援事業(住宅再建移転補助金)	被災者の自力による住宅再建を支援するため、市内に住宅再建移転を行う場合に要する経費に対し、補助金を交付 ・補助金額：一律5万円 ・1世帯1回限り	市	H25～H30	着手済	4	【現状】 ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・交付決定件数： <u>1,112</u> 件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	105,800				105,800					23,900	10,250	14,900	28,000	14,375	14,375				住宅公園課
追9 ◎	S	浄化槽設置整備事業	被災住居の再建に伴う下水道未供用区域での低炭素社会対応型浄化槽の設置に対し、補助金を交付 ・補助金額：5人槽 352千円 7人槽 441千円 10人槽 588千円	市	H24～H28	着手済	4	有	【現状】 ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・平成24年度交付件数：105件 ・平成25年度交付件数：143件 ・平成26年度交付件数：163件 ・平成27年度交付件数：154件 ・平成28年度交付件数： <u>87</u> 件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・特になし	307,786				230,840	76,946		43,333	58,489	65,912	61,502	78,550						下水道事業所
◎	H	防災集団移転促進事業【再掲】	居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団移転の促進 ・住民の意向を踏まえて移転促進区域を設定するほか、住宅団地の整備、移転者に対する助成などを行う ・住宅団地の規模は5戸以上(移転しようとする住居の数が10戸を超える場合には、その半数以上の戸数) ・土地利用にあたっては、所有者の意向を確認しながら遊休農地の活用を図る ・移転後の跡地については、再び住宅が建設されて危険が生じることのないよう、条例により建築基準法第39条の規定による災害危険区域として指定する	市	H23～H29	着手済		有	【現状】 ・全21地区において事業実施中 ・うち20地区(大船渡地区、峰岸地区、神坂地区、細浦地区、小細浦地区、小河原地区、梅神地区、門之浜地区、泊里地区、佐野地区、中赤崎地区の一部、清水地区、蛸ノ浦地区、田浜地区、港・岩崎地区、泊地区、浦浜南地区、浦浜仲・西地区、浦浜東・南嶺地区、崎浜地区)で団地整備工事が完了し、宅地を引渡すとともに、住宅移転費用の補助、被災跡地買取りを実施している 【課題】 ・事業の早期実施																		復興政策課 市街地整備課
施策オ 新たな居住環境において、人と地域のつながりが保てるよう配慮します。																											
12 ◎	S	地域公民館整備支援事業	市内地域公民館132館のうち、被災した地域公民館34施設の修繕、改築あるいは移転新築などの整備を支援	地 域 公民館 市	H23～H28	着手済	2	【現状】 ・被災地域の意向を調査しながら対応(18地域について支援済→使用開始済) 【課題】 ・用地の確保が課題であり、地域との協議を十分に行う必要がある	130,459				130,459		11,970	21,361	27,128	10,000	15,000	45,000							生涯学習課
追10 ○	H	地域防災コミュニティセンター整備事業	被災したむらづくり研修施設などを防災機能を備えたコミュニティ施設として整備 ・合足地域防災コミュニティセンター ・南嶺地域防災コミュニティセンター ・清水地域防災コミュニティセンター ・田浜地域防災コミュニティセンター	市	H25～H28	着手済	4	※有	【現状】 ・合足地域：造成工事完了 ・南嶺地域：建築工事着手済 ・清水地域： <u>建築工事着手済</u> ・田浜地域： <u>建築工事完了</u> 【課題】 ・円滑な事業実施	252,874				202,299	50,575			6,148	11,972	23,290	211,464						農林課 水産課
13 △	S	沿岸被災地仮設住宅運営支援事業	応急仮設住宅などでの住民相互のコミュニケーションの維持や地域コミュニティづくりの支援 ・社会福祉法人やNPOなどと連携 ・集会所などを利用したコミュニティづくりや行政連絡、困りごと相談、交流イベントなどを実施	(北上市) 市	H23～H30	着手済	2	【現状】 ・全応急仮設住宅について支援を実施中 ・平成25年度で北上市の支援が終了し、平成26年度は市が事業主体となった。 ・平成27年3月に市も参加する「大船渡市応急仮設住宅支援協議会」を設立し、平成27年度から事業主体となった。 ・平成27年9月から災害公営住宅のコミュニティ形成支援を開始した。 【課題】 ・事業の継続実施が必要である	1,608,678				926,599	682,079		569,460	279,681	215,037	165,000	165,000	132,000	82,500					住宅公園課
方針② 市民が安心して暮らせるよう保健、医療、介護、福祉など生活に密接に係る各種サービスの充実を図ります。																											
施策ア 被災者の心と体のケア対策を実施します。																											

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)												担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
14 △	S	健康サポート事業	健康の維持・増進を図るため、応急仮設住宅入居者などを対象に在宅訪問指導、健康相談・健康教室などを実施 ・場所:市内応急仮設住宅 37カ所、既存宿舎など10カ所、その他民間賃貸住宅、地域公民館など ・担当:保健師、栄養士など	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・事業終了(No.追11被災者健康づくりサポート事業に統合) 【課題】 ・継続的な支援	750		300			450	250	250	250									健康推進課	
追 11 ○	S	東日本大震災津波被災地健康支援事業	応急仮設住宅などに居住する被災者の健康増進を図るため、保健師、看護師などの専門職を全国から公募するとともに、臨時に雇用して、関連する支援活動を実施	市	H24～H28	着手済	2	【現状】 ・被災者全般に対する支援を実施中 【課題】 ・必要人員の確保	40,891	11,284	29,607				6,904	5,868	8,563	8,272	11,284							健康推進課	
追 12 ○	S	被災者健康づくりサポート事業	被災者を対象に健康状況の悪化予防や健康不安解消、住民相互の交流促進などに資する各種事業を実施	市	H24～H28	着手済	2	【現状】 ・各種健康教室・イベント及び相談を実施中 【課題】 ・不参加者へのアプローチ	30,700	4,450	26,250				7,907	10,505	3,404	4,434	4,450							健康推進課	
15 △	S	こころのケア事業	応急仮設住宅の入居者などを対象とした訪問指導、関係機関との調整など	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・保健師が関係機関からの情報を基に戸別訪問を実施中 ・グリーンケアセミナーやゲートキーパー養成講座などを実施中 【課題】 ・生活環境の変化に伴う健康課題の把握と対応	13,167	11,471	1,618		78	150	432	503	515	2,505	9,062							地域福祉課	
16 △	S	公害防止測定調査事業	震災後の大気の状態変化の有無を把握するため、降下ばいじん量を調査 ・場所:大船渡町、盛町 ・方法:自重または雨とともに沈降するばい煙や粉じんなどを容器に集めて降下ばいじん量を測定 ・数量:24検体/年(両地点で毎月1回)	市	H23～H32	着手済	2	【現状】 ・市内2カ所で測定を実施中 【課題】 ・復興事業などの粉じんへの影響について注視する必要がある	1,262					1,262	215	154	103	105	105	116	116	116	116	116	市民環境課		
17 ◎	S	環境放射能水準調査事業	原発事故に伴い、放射線量、降下物・水道水に含まれる放射性物質などの監視・測定の強化 ・場所:市内 ・方法:モニタリングポスト、簡易測定器による測定	県	H23～	着手済	2	【現状】 ・農水産物、水道水及び廃棄物に係る各種線量測定を実施中 ・県大船渡地区合同庁舎にモニタリングポストを設置し、空間線量率の連続測定を実施中 【課題】 ・特になし	15,800		15,800				10,130	630	630	630	630	630	630	630	630	630	市民環境課		
18 ◎	S	環境放射線量測定事業	原発事故に伴い、市独自での大気中の放射線量の測定や市民への測定器の貸し出し(無料)により、市内への同事故の影響を把握するとともに、市民へ情報を提供 ・場所:市内 ・方法:簡易測定器による測定	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・毎月1回、市内9カ所で定期測定を実施中 ・測定結果などはホームページや市広報紙で随時周知 ・市民に対して測定器を貸出中 【課題】 ・市内におけるさまざまな測定結果などを注視しながら、状況に応じた対策を検討する必要がある	5,845	843				5,002	200	1,545	273	615	417	559	559	559	559	559	市民環境課		
施策イ 被災した保健・医療・介護・福祉施設を早期に復旧します。																											
19 ◎	S	被災地医療確保対策事業	被災した地域の医療供給体制を迅速に確保するために仮設診療所と仮設歯科診療所を整備 ・対象:被災した病院、診療所 ・内容:医科が3カ所(立根、末崎、猪川)、歯科が3カ所(越喜来、綾里、大船渡)に設置	県	H23	実施済		【現状】 ・医科3カ所、歯科3カ所で設置済 【課題】 ・特になし	144,852		144,852				144,852											国保年金課	
20 ◎	H	越喜来診療所復旧事業	津波被害を受けた診療所の復旧工事及び医療機器の整備 ・内容:工事(電気設備更新、建物修繕)及び医療機器購入ほか ・場所:三陸町越喜来字所通地内	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・復旧工事、機器購入を終了 【課題】 ・特になし	20,952	7,366			13,586		15,787	5,165										国保年金課	
21 ◎	H	綾里・歯科診療所復旧事業	地震被害を受けた診療所の復旧工事 ・内容:工事(基礎補強、内外壁張替ほか) ・場所:三陸町綾里字平館地内	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・復旧工事終了 【課題】 ・特になし	35,586	17,958			17,628		17,868	17,718										国保年金課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)												担当課		
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
22 ◎	H	老人福祉施設等災害復旧事業	介護老人福祉施設の高台移転など、各種被災施設の早期再建【協議対象施設】 介護老人福祉施設 1施設、短期入所生活介護 1施設、通所介護 2施設、認知症対応型共同生活介護 1施設、小規模多機能型居宅介護 1施設、訪問介護 1施設、在宅介護支援センター 1施設	県	H23～H26	実施済		【現状】 ・介護老人福祉施設などの整備が終了 【課題】 ・特になし	1,477,775	1,190,835	30,000			256,940			1,477,775												長寿社会課
施策ウ 地域医療を充実します。																													
23 ◎	S	医師確保対策事業（市町村医師養成事業、地域医療調査研究事業を含む）	医師不足の解消や初期救急医療体制、夜間における診療体制の環境整備に向けた取組 ・対象：県の奨学金事業 ・内容：負担金の納入 ・対象：県立病院、医師会など関係機関の代表 ・内容：県立大船渡病院の医療体制充実や地域医療の課題についての検討会開催	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・医師奨学金事業は負担金納入済 ・気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会で関連事項を協議中 【課題】 ・関係機関との調整	14,805					1,816	12,989	2,473	2,830	2,841	2,175	2,150	2,336								国保年金課
◎	H	越喜来診療所復旧事業【再掲】	津波被害を受けた診療所の復旧工事及び医療機器の整備 ・内容：工事（電気設備更新、建物修繕）及び医療機器購入ほか ・場所：三陸町越喜来字所通地内	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・復旧工事、機器購入を終了 【課題】 ・特になし																				国保年金課	
◎	H	綾里・歯科診療所復旧事業【再掲】	地震被害を受けた診療所の復旧工事 ・内容：工事（基礎補強、内外壁張替ほか） ・場所：三陸町綾里字平館地内	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・復旧工事了 【課題】 ・特になし																				国保年金課	
施策エ 地域全体で高齢者や障がい者、子どもたちを支え合うやさしいまちづくりに取り組みます。																													
24 △	S	生きがい対応型デイサービス事業	介護予防のための生きがい対応型サービスの拡充 ・対象：高齢者 ・場所：介護保険施設など	市	H23～ <u>H27</u>	実施済		【現状】 ・ <u>介護予防・日常生活支援総合事業へ移行したことにより事業終了</u> 【課題】 ・特になし	4,370					310	4,060	1,479	957	773	796	365								長寿社会課	
25 △	S	介護予防健康づくり事業	介護予防のための各種教室等の開催	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・介護予防教室と筋力向上教室を市内10会場で開催、年間開催回数を増やしている ・温泉ミニデイサービス事業、高齢者ふれあい活動事業など、委託 による 介護予防事業を実施 ・介護予防ボランティア養成講座の開催（5回コース） ・地域の自主活動への、介護予防に関する講師派遣 【課題】 ・送迎対応ができず、参加者が限定される	65,206	16,301	8,150		40,755		9,633	8,757	9,422	12,700	12,216	12,478								長寿社会課（地域包括ケア推進室）	
26 ◎	H	仮設住宅等における介護・福祉サービス等拠点施設設置事業	高齢者をはじめとする地域住民の生活支援などを包括的に提供するサービス拠点を設置 ・設置数：市内4カ所 ・運営方法：委託 ・主な機能：総合相談、生活支援業務、地域交流サロンなどの実施	市	H23～	着手済	4	【現状】 ・三陸地区：平成24年10月に小規模多機能型居宅介護と併せて開所 ・大船渡北地区、末崎地区：平成25年3月完成、4月開所 ・大船渡南地区：平成25年10月完成、11月開所 【課題】 ・住宅再建後のサポートセンターのあり方を検討する必要がある	488,719		488,719				2,726	221,432	81,452	54,949	60,000	68,160								長寿社会課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)												担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
27 △	S	放課後児童健全育 成事業	市	H23～	着手済	3		【現状】 ・被災したにっこに浜っ子クラブは、平成25年3月に民間支援による仮設の専用施設で再開した。現在、復旧中の赤崎小学校校舎に併設する専用施設整備を進める。なお、それ以外の学童施設は被災を免れ通常運営している。 ・五葉キッズは平成26年7月に、キッピン学童クラブは平成28年7月に開設している。 ・うみねこキッズは平成25年5月に、五葉キッズは平成28年7月にそれぞれ小学校敷地内に専用施設を整備した。 【課題】 ・綾里小学校区では、平成29年4月に放課後児童クラブを開設するための準備を行っている。	660,936	202,868	237,008		35,200	185,860	24,407	33,121	37,938	40,987	53,554	202,929	88,000	60,000	60,000	60,000	子ども課		
28 ◎	H	被災保育所移転改 築事業	市	H23～H28	着手済	4	有 ※有	【現状】 ・越喜来保育所は越喜来幼稚園にて合同保育を実施中 ・越喜来こども園については、越喜来小学校隣地に建設→平成27年6月に本体工事着手、平成28年10月完了 ・開園平成28年11月 【課題】 ・特になし	567,656	151,278	40,203		228,689	147,486		2,744	46,377	132,033	158,305	228,197					生涯学習課		
29 ◎	H	シルバー人材セン ター運営事業	市 シルバー 人材セン ター	H23～	検討中			【現状】 ・仮設事務所で運営中 ・施設の再建候補地を津波浸水想定区域外の市街地を中心に検討中 【課題】 ・恒久的施設の早期整備																長寿社会課			
30 △	S	市町村消費者行政 活性化事業	市	H23～	着手済	2		【現状】 ・消費生活センターを平成24年4月1日に開設し、相談受付中 【課題】 ・消費生活相談員の安定確保及び相談技術の向上を図る必要がある	58,765		53,445		2,872	2,448	10,781	8,117	5,687	4,671	4,959	4,910	4,910	4,910	4,910	4,910	市民環境課		
方針③ 災害廃棄物を適正に処理します。																											
施策ア 大規模災害時に大量発生した各種の廃棄物を迅速に処理します。																											
31 ◎	H	災害廃棄物処理事 業	市	H23～H26	実施済			【現状】 ・災害廃棄物の処理完了 【課題】 ・特になし	45,889,793	40,642,873	3,777,823		473,398	995,699	17,057,081	13,560,568	14,666,812	605,332							建設課		
32 ◎	H	被災地防疫事業	市	H23～H25	実施済			【現状】 ・専門業者に委託し、消毒・殺虫などの薬剤を散布 ・消毒・殺虫用の資機材を市民に無償で提供・貸与 ・ガレキ分は対応終了→水産物残渣分は、「2産業・経済の復興」No.48水産物等残渣処理事業で対応 【課題】 ・特になし	57,446	51,701				5,745	38,719	9,316	9,411								市民環境課		
施策イ ガレキについては、市内企業などにおいて処理し、処理後に発生する灰などでもできるかぎり有効活用します。																											
◎	H	災害廃棄物処理事 業【再掲】	市	H23～H26	実施済			【現状】 ・災害廃棄物の処理完了 【課題】 ・特になし																建設課			
方針④ 被災した教育施設の再建などにより、教育機会の確保を図ります。																											
施策ア 貴重な学術研究機関として、多くの分野で貢献いただいている北里大学海洋生命科学部の三陸キャンパスが、早期に再開されるよう取り組みます。																											

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)												担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
33 ◎	S	北里大学海洋生命科学部早期再開促進事業	北里大学海洋生命科学部三陸キャンパスの早期再開に向けた取り組みを関係機関とともに積極的に展開	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・平成25年10月に北里大学三陸キャンパス活用検討協議会を設立 ・平成26年4月1日に北里大学が、北里大学海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センターを開設 ・三陸臨海教育センターでの学生及び教職員の活動を支援するため、平成26年7月に「大船渡市北里大学海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センター活動支援補助金交付要綱」を策定→平成26年以降、毎年夏期に海洋生命科学部が海洋実習を実施 ・三陸臨海教育センターの施設整備を支援するため、平成27年4月「大船渡市北里大学海洋研究拠点施設整備費補助金交付要綱」を策定→平成27年4月から三陸臨海教育センターの施設整備を実施し、7月に完了 【課題】 ・三陸キャンパスの活用促進 ・上記以外の支援内容	32,558					24,300	8,258	365	427	859	2,101	26,196	2,610							北里大学再開推進室
34 ◎	S	北里大学海洋生命科学部施設利用促進事業	北里大学海洋生命科学部三陸キャンパス内施設(体育館、グラウンドなど)や設備(海水ポンプ、水槽施設など)の利用を積極的に促進	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・体育館やグラウンドなどの施設は、地元小・中学校や市内のスポーツ少年団が活用している 【課題】 ・特になし																			北里大学再開推進室	
施策イ 災害に強い教育施設を整備します。																												
35 ◎	H	学校再開事業	赤崎小学校、越喜来小学校及び崎浜小学校の隣接校への移転、赤崎中学校の移転及び合同授業による学校の再開	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・赤崎小学校は蛸ノ浦小学校で合同授業を実施中 ・越喜来小学校は旧甫嶺小学校に移転 ・赤崎中学校は仮設校舎で再開済 【課題】 ・特になし	63,705	29,050				18,130	16,525	2,000	61,705											学校教育課
36 ◎	S	通学支援バス運行事業	被災した小中学校の児童・生徒が他校へ通学するためのスクールバスの運行	市	H23～H28	着手済	2	【現状】 ・赤崎小学校児童を蛸ノ浦小学校へ、赤崎中学校生徒を仮設校舎へ通学させるためのスクールバスを運行している 【課題】 ・特になし	127,300		101,225				26,075	21,000	16,676	17,064	16,539	24,634	31,387							学校教育課
37 ◎	H	被災学校移転改築事業	津波により被災した赤崎小学校、越喜来小学校及び赤崎中学校を地区の拠点となるよう防災機能をあわせ持つ施設として移転改築	市	H23～H28	着手済	4	有 ※有	12,689,341	5,293,906		444,700	2,331,702	4,619,033		118,470	633,497	1,629,844	4,321,048	5,986,482							生涯学習課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)												担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
38 ◎	H	被災学校復旧事業 (津波)	津波により被災した大船渡小学校及び 綾里小学校の補修	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・工事終了 【課題】 ・特になし	155,598	138,079					17,519	103,518	43,155	8,925									生涯学習課
39 ◎	H	被災学校復旧事業 (地震)	地震により被災した日頃市小学校、第一 中学校、末崎中学校及び越喜来中学校 の補修	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・工事終了 【課題】 ・特になし	69,435	40,780					28,655	55,195	14,240										生涯学習課
40 ◎	H	被災給食施設復旧 事業	被災した赤崎学校給食共同調理場の復 旧と併せた北部学校給食センターの整 備	市	H23～H25	実施済	有 ※有	【現状】 ・平成26年3月に北部学校給食 センター建設工事終了→「炊き 出し」機能を付加 【課題】 ・特になし	888,819	72,865		433,500	132,439	250,015		26,759	862,060										生涯学習課
41 ◎	H	学校施設防災機能 強化事業	旧耐震基準の学校施設の耐震補強工事 などを実施 ・盛小学校:屋内運動場 ・末崎小学校:校舎 ・蛸ノ浦小学校:校舎、屋内運動場 ・猪川小学校:屋内運動場 ・日頃市小学校:校舎、屋内運動場 ・大船渡北小学校:校舎、屋内運動場 ・綾里小学校:屋内運動場 ・第一中学校:屋内運動場 ・綾里中学校:校舎 ・越喜来中学校:校舎、屋内運動場	市	H23～H30	着手済	3	【現状】 ・「大船渡市立学校施設耐震化 整備計画」を策定し、対象施設 の耐震第2次診断及び耐震化設 計を完了 ・これまでに盛小学校屋内運動 場、末崎小学校校舎、猪川小学 校屋内運動場、日頃市小学校校 舎及び屋内運動場、大船渡北小 学校校舎及び屋内運動場、第一 中学校屋内運動場、越喜来中学 校校舎及び屋内運動場の耐震 改修工事を完了 ・現在、綾里小学校屋内運動 場、綾里中学校校舎の耐震改修 工事を施工中 ・蛸ノ浦小学校は、赤崎小学校と の学校統合方針のため、耐震改 修工事を見送り 【課題】 ・特になし	1,490,136	447,000		782,000		261,136			80,136	1,410,000									生涯学習課
42 ◎	H	認定こども園整備事 業	震災の影響により工事中止となった綾里 こども園舎の整備	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・工事終了(平成26年3月) 【課題】 ・特になし	293,013			263,400		29,613		15,721	277,292										生涯学習課
施策ウ 被災した児童生徒などが、安心して就学できる環境を整えます。																											
追 13 ◎	H	仮設校庭整備事業	応急仮設住宅が建設されている学校に おける代替グラウンドなどの整備→9校(盛 小、末崎小、蛸ノ浦小、猪川小、大船渡 北小、第一中、大船渡中、末崎中、綾里 中)	市	H24～H25	実施済	※有	【現状】 ・平成24年度:大船渡中学校の 仮設テニスコート整備済 ・平成25年度:赤崎中学校の仮 設テニスコート整備済、第一中 学校、末崎中学校、盛小学校、 大船渡北小学校及び猪川小学 校の仮設グラウンド整備済 ・赤崎小学校及び末崎小学校に ついては、民間支援により仮設 グラウンド整備済 【課題】 ・特になし	138,799					96,658	42,141		2,740	136,059									生涯学習課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)												担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
追 14 ◎	S	被災校等体育部活動支援バス運行事業	市	H25～H28	着手済	2	※有	【現状】 ・市内輸送業者などに業務委託のうえ実施中 【課題】 ・受託事業者の安定的な確保	67,611									7,649	16,519	15,252	28,191							学校教育課
43 ◎	S	児童生徒就学援助事業(被災対応)	市	H23～H28	着手済	2		【現状】 ・家屋被災、失職世帯などを準要保護世帯とみなし、就学費用の一部を補助している 【課題】 ・特になし	378,681		378,681					69,652	68,759	67,288	62,141	53,360	57,481							学校教育課
44 ○	S	児童生徒のこころのサポート事業	県	H23～	着手済	2		【現状】 ・スクールカウンセラー3人を配置し、児童生徒、教職員及び保護者のカウンセリングを実施している 【課題】 ・スクールカウンセラーを安定的に確保する必要がある	59,509		59,509					3,010	8,526	10,706	11,439	15,059	10,769							学校教育課
45 ○	S	学校等放射線量測定及び土壌除染事業	県・市	H23～	着手済	2		【現状】 ・市教育委員会独自の基準により市内教育施設を除染した ・空中放射線量を継続して測定している 【課題】 ・国から各校敷地内に埋設している汚染土壌の最終処分方法が示されていない	12,465		6,520				5,945	3,170	4,172	4,134	526	227	236							学校教育課
46 ○	S	緊急スクールカウンセラー等派遣事業	県	H23	実施済			【現状】 ・スクールカウンセラーが各園を巡回してカウンセリングを実施 【課題】 ・定期的カウンセリングを実施する体制を確立する必要がある																			学校教育課	
47 ○	S	いわての復興教育推進事業	県	H23～	着手済	2		【現状】 ・各校において実施中 【課題】 ・特になし																			学校教育課	
48 ○	S	被災地学校等への教職員配置事業	県	H23～	着手済	2		【現状】 ・各校1～2人程度の震災加配教職員が配置されている 【課題】 ・特になし	536,942		536,942					12,600	76,148	78,523	105,179	126,546	137,946						学校教育課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)												担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
追 15 △	S	仮設住宅の再編等 にかかる子どもの学 習支援によるコミュ ニティ復興支援事業	市	H24～H28	着手済	2		【現状】 ・スクールガード配置事業を市内 13小中学校で実施 ・市内小・中学校20校、保育園2 園、こども園3園で開催 【課題】 ・事業の理解促進 ・ボランティアの確保	67,948		67,948					11,220	15,196	13,925	13,980	13,627							生涯学習課
49 ○	S	教職員健康管理支 援事業	県	H24～H27	実施済			【現状】 ・平成24年度から随時実施 ・労働安全衛生法の一部改正に より平成27年度で県による実施 が終了 【課題】 ・特になし																		学校教育課	
50 △	S	いわての学び希望 基金奨学金事業	県	H23～	着手済	2		【現状】 ・県全体で508人給付決定(平成 27年度末現在) 【課題】 ・財源の多くを個人・団体からの 寄付で対応することから、相応 の額を確保する必要がある	2,188,580		100,000		2,088,580		152,700	168,150	277,045	245,185	245,500	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	生涯学習課	
施策エ 生涯学習環境を充実します。																											
51 ◎	H	公立社会教育施設 復旧事業	市	H23～H26	実施済			【現状】 ・猪川地区公民館の修繕は実施 済 ・三陸公民館は平成26年12月に 建築工事完了 【課題】 ・特になし	928,370	542,260				386,110	749		127,621	800,000									生涯学習課
52 △	S	復興支援文化活動 事業	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・平成23年度は被災した7地区の 住民を対象に、陶芸体験やそば 打ち体験教室を実施 ・平成24年度は謡曲講座や木工 品づくりを実施したほか、各地区 公民館とも連携して講座を実施 【課題】 ・特になし	431		323			108	108	323											生涯学習課
53 ◎	H	リアスホール修繕事 業	市	H23	実施済			【現状】 ・修繕済であり、平成23年10月1 日より通常開館している 【課題】 ・特になし	10,910	6,327		3,165		1,418	10,910											市民文化会館	
◎	S	地域公民館整備支 援事業【再掲】	地 域 公民館 市	H23～H28	着手済			【現状】 ・被災地域の意向を調査しなが ら対応(18地域について支援済 →使用開始済) 【課題】 ・用地の確保が課題であり、地 域との協議を十分に行う必要が ある																		生涯学習課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手 細分	復 興 交付金	現状と課題	事業費(千円)	全体計画					事 業 費(千円)												担当課	
										財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
追 15 △	S	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【再掲】	地域の学びを通じた被災地の地域コミュニティ活動などを支援 〔学校支援地域本部事業〕 ・スクールガード配置事業:市内各小中学校にスクールガードを配置して児童生徒の安全を確保(震災による通学路の環境変化に対応) 〔家庭教育学級〕 ・児童生徒の心のケアや親子のコミュニケーションなど学校・保育園・家庭等で抱える課題の解決にむけ、家庭教育学級を開催	市	H24～H28	着手済		【現状】 ・スクールガード配置事業を市内13小中学校で実施 ・市内小・中学校20校、保育園2園、こども園3園で開催 【課題】 ・事業の理解促進 ・ボランティアの確保																			生涯学習課	
施策オ 各種スポーツを推進します。																												
54 ◎	H	公立社会教育施設復旧事業	被災した公立社会体育施設の修繕など 【対象施設】 市民体育館、体育センター、市民テニスコート、市民弓道場、田中島グラウンド、市営球場、三陸体育館、三陸総合運動公園グラウンド、綾里小学校・赤崎中学校校庭夜間照明施設	市	H23～H27	実施済		【現状】 ・三陸体育館・体育センター・市民テニスコート・市民弓道場:平成23年度着手、平成24年度終了 ・綾里小学校校庭夜間照明施設:平成24年度着手、終了 ・市民体育館・三陸総合運動公園グラウンド:平成24年度着手、平成26年度終了 ・田中島グラウンド:平成27年度終了	894,095	596,063				298,032	1,543	218,238	225,750	430,661	17,903									生涯学習課
55 △	S	スポーツイベント開催事業	復興祈念事業などとして、県大会規模と同等以上のスポーツイベントなどを招致・開催	市	H25～H28	着手済	2	【現状】 ・当市において、岩手国体(平成28年度開催)の公開競技としてグラウンドゴルフを開催 ・上記競技の会場である盛川河川敷グラウンドの整備に着手済 【課題】 ・開催環境の整備	6,706					6,706			300	550	830	5,026								生涯学習課
56 ◎	H	森林総合利用施設整備事業	フレア일랜드尾崎岬の林間広場を球技などにも利用できるように整備(校庭などが使用できない小中学生のスポーツ活動にも対応) ・バックネット及び防球ネット設置 ・グラウンド整備	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・事業終了 【課題】 ・特になし	8,479	4,990		3,290		199		8,479											農林課	
方針⑤ 市民共有の財産である歴史・文化資源を活用して、うるおいと安らぎをつくりだします。																												
施策ア 歴史・文化資源の継承・普及活動に取り組みます。																												
△	S	復興支援文化活動事業【再掲】	被災地区を対象として、市民相互のコミュニケーション維持と心のゆとりを保つため、生活に役立つ知識や技術を習得するなど多様な学習機会を提供し、市民の復興意欲を醸成	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・平成23年度は被災した7地区の住民を対象に、陶芸体験やそば打ち体験教室を実施 ・平成24年度は謡曲講座や木工品づくりを実施したほか、各地区公民館とも連携して講座を実施 【課題】 ・特になし																			生涯学習課	
追 15 △	S	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【再掲】	地域の学びを通じた被災地の地域コミュニティ活動などを支援 〔学校支援地域本部事業〕 ・スクールガード配置事業:市内各小中学校にスクールガードを配置して児童生徒の安全を確保(震災による通学路の環境変化に対応) 〔家庭教育学級〕 ・児童生徒の心のケアや親子のコミュニケーションなど学校・保育園・家庭等で抱える課題の解決にむけ、家庭教育学級を開催	市	H24～H28	着手済		【現状】 ・スクールガード配置事業を市内13小中学校で実施 ・市内小・中学校20校、保育園2園、こども園3園で開催 【課題】 ・事業の理解促進 ・ボランティアの確保																			生涯学習課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)											担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
57 △	S	子どもの読書活動 推進事業	被災した社会教育施設において展開される事業の再開と充実のための読書ボランティアの育成を支援	県・市	H24～H25	実施済		【現状】 ・さんりく・おおふなとお話大賞を実施(平成25年度:32作品応募→9作品入賞) ・こども園と連携し、読み聞かせ会などを実施 【課題】 ・事業成果の継承	252		224				28		129	123									中央公民館
58 △	S	家庭の教育力向上 に向けた総合的施策 推進事業	被災した社会教育施設において展開される事業の再開と充実のための家庭教育学級の支援及び子育てサポーターの育成	県・市	H24～H25	実施済		【現状】 ・学校・保育園などと連携して教育講演会などを実施(平成25年度:13回実施) 【課題】 ・事業成果の継承	421		421						195	226									生涯学習課
59 ◎	H	民族資料保管庫の 復旧事業	綾里小学校地内に所在する民族資料保管庫の修繕(サッシ約10カ所、外壁約50㎡、内壁約120㎡、内部天井約65㎡など)	市	H23	実施済		【現状】 ・復旧済 【課題】 ・特になし	6,324			6,300			24	6,324											博物館
60 △	H	博物館常設展示改 修事業	・津波災害を普及、継承するため、エントランスホール、シアター、荒れ狂う海・津波コーナーなどを改修し、明治三陸津波、チリ地震津波、東日本大震災の資料、映像、写真などを展示 ・平成25年9月に日本ジオパークに認定された「三陸ジオパーク」の情報や資源価値などを展示	市	H24～	着手済	4	【現状】 ・「三陸ジオパーク」のミニコーナーを開設し、ジオパークをPRするパネルの展示、関係パンフレット等の配布を実施 ・津波災害に係る資料、情報などを収集するとともに、展示内容を検討中 【課題】 ・資料及び情報の収集・選択・評価に一定期間が必要である ・関係機関との展示内容の調整	927						927			927									博物館
◎	H	リアスホール修繕事業【再掲】	地震被害を受けた市民文化会館・図書館の施設の修繕	市	H23	実施済		【現状】 ・修繕済であり、平成23年10月1日より通常開館している 【課題】 ・特になし																			市民文化会館
61 △	S	市民芸術祭開催事業	市民芸術祭を復活し、復興祈念事業として開催	実行委員会	H24～H32	着手済	1	【現状】 ・平成26年度以降は総合美術展を市民体育館において開催。また、カメリアホール、リアスホール等において市内芸術団体の展示・発表を行なう 【課題】 ・震災後規模を縮小して開催しており、今後参加団体、人数等の復活に取り組む	7,696						7,696	1,300	1,300	1,300	1,363	1,133	1,300						生涯学習課
62 ○	H	指定文化財復旧事業	被災した郷土芸能装束などの指定文化財の修復	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・他団体からの支援を受け、装束などの復旧を進めた 【課題】 ・特になし	114						114		72	42									生涯学習課
63 △	S	芸術文化創作活動 支援事業	団体などによる芸術文化活動の活性化を図るため、展示会や発表会、作品集の刊行などの創作活動に対し補助	大船渡市芸術文化協会	H23～H27	実施済		【現状】 ・平成26年度は3団体、平成27年度は2団体に補助金を交付	1,076						1,076	173	198	163	196	346							生涯学習課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課		
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
方針① 経済活動の早期再建を支援し、雇用の確保を図ります。																											
施策ア 仮設の工場や事務所の整備などにより、被災企業などの早期の事業再開を支援します。																											
1 ◎	H	仮設店舗等貸与事業	中小企業 基盤整備 機構 市	H23～	着手済	2		【現状】 ・81カ所496区画を整備(平成26年12月末現在) ・完成施設から随時営業を開始 ・仮施設貸与事業の今後の運営方針を策定(平成27年7月) ・地権者などの意向により、16カ所135区画の施設を撤去(平成28年9月末現在) ・譲渡方針を策定(平成27年11月) 【課題】 ・施設譲渡に係る事務調整(建築確認)	133,767					75,781	57,986	7,564	16,104	22,084	56,791	31,224							商工課
2 ◎	S	中小企業等復旧・復興支援事業 (グループ補助金)	国・県	H23～	着手済	4		【現状】 ・平成23年度～平成27年度までに55グループ357事業所が採択となった ・平成28年度は2回の募集が行われる計画で、1回目の16次では3グループ23事業所が採択となった 【課題】 ・地域の実情に応じた事業の継続実施																		商工課	
施策イ 雇用環境を改善し、雇用の維持と創出を図ります。																											
3 ○	S	企業誘致推進事業	市 関係団体	H23～	着手済	1		【現状】 ・案件ごとに折衝中 ・制度適用案件に企業立地奨励補助金を交付 【課題】 ・工場などの用地・空き物件の不足	265,519			81,497			184,022		48,338		9,120	13,267	114,794	20,000	20,000	20,000	20,000	企業立地港湾課	
4 ○	H	工業用地整備事業	県・市	H23～	着手済	3		【現状】 ・永浜・山口地区工業用地は、平成28年3月に造成工事が完了、9月から分譲開始 【課題】 ・新たな工業用地の検討																	企業立地港湾課		
5 △	S	求職者資格取得支援事業	市	H23～	着手済	1		【現状】 ・対象技能講習を9種類に拡大 ・平成23年度実績:56件(759千円) ・平成24年度実績:25件(320千円) ・平成25年度実績:14件(187千円) ・平成26年度実績:12件(158千円) ・平成27年度実績:6件(67千円) ・平成28年度(9月末日現在):8件(113千円) 【課題】 ・事業の周知を徹底する必要がある	2,986					2,986	759	320	187	158	62	300	300	300	300	300	300	商工課	
6 △	S	雇用促進奨励支援事業	市	H23～	着手済	1		【現状】 ・平成24年度実績:33件(4,000千円) ・平成25年度実績:38件(5,600千円) ・平成26年度実績:36件(5,200千円) ・平成27年度実績:46件(6,200千円) ・平成28年度(9月末日現在):1件(200千円) 【課題】 ・UJターン者のみを対象とする等、対象を見直す必要がある	54,800					54,800	3,800	4,000	5,600	5,200	6,200	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	商工課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	事業費(千円)	全体計画						事業費(千円)											担当課
										財源内訳						23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
7 △	S	ジョブカフェ気仙支援事業	市	H23～	着手済	1		【現状】 ・平成26年12月1日からシーバル大船渡1階に移転し開所中 【課題】 ・事業の充実を図る必要がある	28,263						28,263	3,377	2,877	2,181	2,776	2,792	2,852	2,852	2,852	2,852	2,852	2,852	商工課
8 △	S	ふるさと雇用再生特別基金事業	市	H23	実施済			【現状】 ・中小企業等復興支援事業ほか6事業を実施 【課題】 ・特になし	48,630			48,630				48,630											商工課
9 ○	S	市町村緊急雇用創出事業	市	H23～H28	着手済	2		【現状】 ・平成28年度は情報関連産業人材育成・地場産業応援事業ほか3事業を実施中 ・平成23年度雇用実績:722人 ・平成24年度雇用実績:912人 ・平成25年度雇用実績:151人 ・平成26年度雇用実績:54人 ・平成27年度雇用実績:61人 ・平成28年度雇用実績(9月末現在):28人 【課題】 ・大船渡公共職業安定所などと連携した求職者支援へ転換する必要がある	2,170,804			2,170,804				608,250	903,372	331,682	162,438	100,179	64,883						商工課
10 △	S	デュアルシステム型被災者等ものづくり技術習得支援事業	県	H23～H24	実施済			【現状】 ・平成24年度は県内受入れ企業9社において、被災者を17人雇用し、OJTなどの研修を実施 【課題】 ・事業終了後の継続雇用																		商工課	
11 △	S	漁業就業相談会企画事業	岩手県漁連	H23～H27	実施済			【現状】 ・県や県漁連と連携して開催(平成26年度は東京都にて) 【課題】 ・対象者の掘り起こしや開催方法の改善が必要である																			水産課
12 △	S	新規漁業就業者育成支援事業	漁協	H25～H32	着手済	1		【現状】 ・各種支援制度の周知 ・意見交換会を開催 ・平成26年度に各漁協で策定した地域再生営漁計画に基づき事業を検討 【課題】 ・生産者や漁協などにおける課題を把握し、事業を展開する必要がある	20,646			10,323			10,323						4,646	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	水産課
13 △	S	新規就農者支援事業	市市農協	H23～	着手済	1		【現状】 ・青年就農給付金を平成24年度から給付(2人、5年間) 【課題】 ・新規就農者の掘り起こし	20,192			19,692			500		2,335	3,170	3,920	1,585	3,270	2,462	1,675	1,675	100	農林課	
14 ○	S	山と森の担い手育成事業	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・事業終了(緊急雇用創出事業により、平成23・24年度に9人を雇用して事業実施) 【課題】 ・特になし	24,289			24,289				7,804	16,485										農林課
施策ウ 被災者の復興関連事業への雇用を促します。																											
15 ◎	S	被災者支援事業	市	H23～H25	実施済			【現状】 ・264人を雇用(平成26年3月末現在) 【課題】 ・特になし	649,875	584,888		64,987				283,186	233,677	133,012									総務課
16 ○	S	臨時職員緊急雇用事業	県	H23～H24	実施済			【現状】 ・緊急雇用創出事業として、県全体で平成23年度594人、平成24年度558人を雇用 【課題】 ・より安定的、長期的な雇用創出が求められている																			商工課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
17 ○	S	離職者等再就職訓練事業	県	H23～H24	実施済			【現状】 平成23年度87人、平成24年度54人が受講 【課題】 ・特になし																商工課	
18 ○	S	被災求職者等雇用・人材育成事業	県	H23～H24	実施済			【現状】 ・委託事業者数:12事業者(県全体) ・雇用予定人数:523人(県全体) 【課題】 ・特になし																商工課	
19 △	S	沿岸地域食品事業者復興支援事業	県	H23～H24	実施済			【現状】 ・県全体で12業者(雇用予定人数60人)に委託済 【課題】 ・特になし																商工課	
20 ◎	H	認定職業訓練施設災害復旧事業	市 職業訓練法人	H23	実施済			【現状】 ・市の施設復旧が終了 【課題】 ・建設関係の訓練実施場所の確保	2,762		1,841			921	2,762									商工課	
追1 ○	H	技能訓練所増築事業	市	H25～H27	実施済			【現状】 ・増築工事完了 【課題】 ・特になし	133,229		52,822	80,200		207		7,319	55,698	70,212						商工課	
21 ◎	S	雇用調整助成金や雇用保険等の給付(「日本はひとつ」しごとプロジェクト)	国・県	H23～	着手済	2		【現状】 ・就業支援員による事業所訪問などを実施中 【課題】 ・雇用保険給付期間満了者に対する就業支援が必要である																商工課	
22 ◎	H	勤労者福祉施設災害復旧事業	市	H23～H26	実施済			【現状】 ・シーパル大船渡については、平成24年9月に施設復旧済 ・働く婦人の家及び勤労青少年ホームについては、平成26年7月に施設復旧済 【課題】 ・特になし	190,710	94,722			5,070	90,918	604	36,492	66,697	86,917						商工課	
23 ◎	S	就業支援推進事業	県	H23～	着手済	1		【現状】 ・就業支援員による学校訪問件数:6,772件(県全体) 【課題】 ・未内定者の就業支援 ・若手社員のフォローアップ																商工課	
24 ○	S	特定求職者雇用開発助成金の特例措置	国	H23～	着手済	2		【現状】 ・被災により離職した求職者を雇用した場合、1人につき最大90万円を助成 【課題】 ・すでに6カ月以上就職した者を雇用した場合、対象外となることについての周知																商工課	
追2 ○	S	事業復興型雇用創出事業費補助	県	H23～H29	着手済	2		【現状】 第1期認定数 H23～H25:13,371人 第2期認定数 H26～H27:4,439人 計17,810人(H28.2.29時点) 【課題】 ・事業の周知																商工課	

施策エ 既存の借入金と新たな借入金による二重ローンの軽減について、関係機関に働きかけます。

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課		
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
25 ◎	S	復興支援ファンド設立支援事業	国・県金融機関など	H23～	着手済	2		【現状】 ・平成23年10月に復興支援ファンドとして「岩手県産業復興機構」が、平成24年3月に「東日本大震災事業者再生支援機構」が設立された ・市内で岩手県産業復興機構により26件の債権買取が行なわれた(平成28年9月末現在) ・東日本大震災事業者再生支援機構による市内の支援決定件数は21件(平成28年9月末現在) 【課題】 ・関係機関と協力しながら、さらなる事業の周知を図る必要がある																		商工課	
26 ◎	S	水産業共同利用施設復旧支援事業(漁協、水産加工業協同組合など)	漁協、水産加工業協同組合など	H23～H28	実施済			【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業を実施済。 【課題】 ・整備した施設の適正管理。	2,630,440	1,723,896	406,092		287,086	213,366	366,491	916,805	849,060	255,826	207,975	34,283							水産課
追3 ◎	H	水産業共同利用施設復興整備事業	民間団体	H24～H28	着手済		4	有 ※有	【現状】 ・平成24年度認定事業数：47、事業完了43 ・平成25年度認定事業数：23、事業完了20 ・平成26年度認定事業数：16、事業完了15 【課題】 ・平成25年度認定分まで完了済。28年度事故線越事業者分を、他事業との調整を図りつつ、早期かつ適正に実施する必要がある ・整備した施設の適正管理	8,534,603				6,986,865	1,547,738		123,070	3,721,557	2,994,862	1,665,114	30,000						水産課
方針② 産業基盤を再建します。 施策ア 被災した各種産業の生産基盤などを早期に復旧します。																											
27 ○	H	コンテナ定期航路再開事業	県・市関係団体関係企業	H23～H25	実施済			【現状】 ・国・県の助成により荷役機械を修繕済 ・平成25年9月から国際フィーダーコンテナ定期航路開設 【課題】 ・他港へシフトした荷物の呼び戻し ・開設航路の安定運営	374,998	164,116	150,994		18,998	40,890	1,198	373,800										企業立地港湾課	
追4 ○	H	共同利用コンテナ用上屋整備事業	市	H25～H28	着手済		4		【現状】 ・平成25年9月に本事業及び下記(追5)事業を包含したプロジェクトの実施に係る関係機関による調印式を開催 ・上屋整備に係る設計業務完了 【課題】 ・各種災害復旧工事の関係で埠頭場が使用中のため、工事実施にあたっては関係機関との調整が必要になる	364,350				364,350				10,338	514	4,738	348,760						企業立地港湾課
追5 ○	H	コンテナヤード附帯設備等整備事業	大船渡国際港湾ターミナル協同組合	H24～H28	着手済		4		【現状】 ・コンテナヤード上の立地場所などについて検討中 ・コンテナ運搬用トレーラー及びフォークリフト納品済 ・管理棟・トラックスケール完成 【課題】 ・一部施設の復旧	277,050					277,050		146,138	27,970	37,365	7,873	57,704						企業立地港湾課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
28 ○	S	港湾利活用推進事業	港湾物流のための施設整備 ・リーファー設備、電源設備、ソーラス設備(フェンス、照明など)など	県	H23～	着手済	4	【現状】 ・ソーラス関連の一部保安施設は、暫定供用中 ・平成25年度に本格復旧工事に着手 【課題】 ・早期復旧に向け、国・県に要望を継続する必要がある	571,046	123,211	57,546	390,289				161,244	265,980	143,822							企業立地港湾課	
施策イ 基盤整備にあたっては、建築物の構造強化や電源対策の推進など、防災機能の向上に配慮するほか、重要施設などへの重点・優先投資を行います。																										
29 ○	S	津波被災地域建築物安全対策事業	建築基準法第39条に基づく災害危険区域の指定 ・建築物の構造、地盤高などによる建築規制 ・都市防災の方針(地区計画などによる建築物の構造検討など)	市	H23～H26	実施済	有 ※有	【現状】 ・土地利用計画や防災集団移転促進事業と調整を図りながら、津波浸水シミュレーションに基づく災害危険区域設定の考え方、規制内容などを周知 ・災害危険区域に係る条例を制定(平成25年4月1日施行)→平成25年9月から地区別説明会を開催→市内26地区全て告示済、平成26年10月10日完了 【課題】 ・特になし	103,623					82,898	20,725		6,510		97,113							土地利用課
○	S	港湾利活用推進事業【再掲】	港湾物流のための施設整備 ・リーファー設備、電源設備、ソーラス設備(フェンス、照明など)など	県	H23～	着手済		【現状】 ・ソーラス関連の一部保安施設は、暫定供用中 ・平成25年度に本格復旧工事に着手 【課題】 ・早期復旧に向け、国・県に要望を継続する必要がある																	企業立地港湾課	
方針③ 水産業の早期再建を図ります。																										
施策ア 漁船や養殖施設の共有・共用化、漁業の共同経営化などに対する支援を行います。																										
30 ◎	S	共同利用漁船等復旧支援対策事業	漁協などが実施する漁業者が共同利用する漁船、定置網などの一括整備に対する補助	漁協	H23～H27	実施済		【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施済み 【課題】 ・整備した施設の適正管理	11,889,534	7,926,000	1,321,000		1,321,000	1,321,534		7,596,616	4,010,726	221,525	60,667						水産課	
31 ◎	S	水産業経営基盤復旧支援事業	漁協などによる養殖施設などの共同利用施設の一括整備に対する補助	漁協	H23～ <u>H28</u>	着手済	4	【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中(平成25年度分まで完了、平成26年度事故繰越分及び平成27年度繰越分) 【課題】 ・事業を早期かつ適正に推進する必要がある	6,847,657	4,565,104	760,850		760,850	760,853	1,146,634	1,261,398	1,655,004	1,304,966	738,054	741,601					水産課	
32 ◎	S	養殖用種苗供給事業	養殖業の再開に向け、漁協が行うワカメ、コンブ、ホタテガイ、カキ種苗などの一括購入に対する補助	漁協	H23	実施済		【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施 【課題】 ・整備した施設の適正管理	140,409	75,531	12,587		39,697	12,594	140,409										水産課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)										担当課		
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
追6 ○	S	東日本大震災漁業 経営復興特別資金 利子補給	東日本大震災漁業経営復興特別資金 (被災した漁業者などの早期経営再建を 支援するための無利子融資)の償還に 対する利子補給	市	H23～H36	着手済	2	【現状】 ・県や関係機関と連携して無利 子融資制度を創設 ・資金需要に応じて利子補給承 認を実施中 【課題】 ・関係機関との連携による資金 需要への迅速な対応	11,828					5,195	6,633		122	932	1,445	1,435	1,622	1,908	1,682	1,454	1,228	水産課	
施策イ 新しい大船渡魚市場を早期に整備します。																											
33 ○	H	新大船渡魚市場整 備事業	新大船渡魚市場施設及び関連施設の整 備(手戻り復旧工事を含めた本体工事)	市	H23～	着手済	1	有 ※有	【現状】 ・平成26年3月に第1期工事終了 し、4月から供用開始 ・平成26～27年度に2期工事(南 側岸壁上屋の解体及び建設)を 施工し、平成28年2月から供用 開始 【課題】 ・施設・設備の適正管理	7,844,997	1,842,898	2,062,097	2,928,100	836,628	175,274	2,167,999	623,680	3,846,769	405,712	793,437	7,400					水産課	
34 ◎	H	現大船渡魚市場災 害復旧事業	現魚市場の建物及び設備の修繕 (産地魚市場緊急支援事業)	市	H23	実施済		【現状】 ・補助事業による船舶給水施設 修繕及び単独修繕工事実施 【課題】 ・施設・設備の適正管理	43,336	19,434	6,477	700			16,725	43,336										水産課	
35 ◎	H	水産業共同利用施 設復旧支援事業(大 船渡魚市場)	現魚市場施設の早期復旧に必要な業務 用機械器具の修繕整備	市	H23	実施済		【現状】 ・機器類の購入、修繕終了 【課題】 ・施設・設備の適正管理	114,369	72,611	24,200	2,500			15,058	114,369										水産課	
施策ウ 漁業協同組合の経営安定化を図ります。																											
36 ◎	S	漁業協同組合等機 能回復支援事業	津波により事務所などが被災した漁協機 能の早期回復に必要な不可欠な施設復 旧、データ復旧、OA機器などの整備や 各組合が行う漁業復興計画の策定に対 する補助	漁協	H23	実施済		【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業 実施済 【課題】 ・整備した施設の適正管理	23,735	14,187	2,361			4,812	2,375	23,735											水産課
◎	S	水産業経営基盤復 旧支援事業【再掲】	漁協などによる養殖施設などの共同利 用施設の一括整備に対する補助	漁協	H23～H28	着手済		【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業 実施中(平成25年度分まで完了、 平成26年度事故繰越分及び平成27 年度繰越分) 【課題】 ・事業を早期かつ適正に推進する 必要がある																		水産課	
37 ◎	S	製氷保管施設早期 復旧支援事業	漁協が行う産地魚市場で使用する氷の 製氷・貯氷施設の整備に対する補助	漁協	H23～H24	実施済		【現状】 ・事業実施主体が、平成23年度に 着手し、平成24年度において実施 済 【課題】 ・整備した施設の適正管理	1,109,100	739,400	246,466		123,233	1	411,000	698,100											水産課
施策エ 地域特産水産物のPRや地産地消の取り組みを進めます。																											
38 ○	H	海の恵み体験施設 復旧事業	地域水産物の安定的な展示販売を行う ため、津波により被災した三陸蓄養セ ンター及び地震により被災した三陸ふる さと物産センターを復旧	市	H23～H27	実施済		【現状】 ・ふるさと物産センターの修繕を 一部実施済 ・蓄養センター復旧済み	55,318	36,878	6,146				12,294					55,318							水産課
39 ○	S	東日本大震災対応・ 緊急研究開発成果 実装支援プログラム	大型マイクロバブル発生装置による大船 渡湾の水質浄化試験	独立行政 法人	H23	実施済		【現状】 ・民間団体が事業主体(漁協が協 力)となり事業を実施 【課題】 ・成果及び技術の普及	9,100	9,100						9,100											水産課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課				
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
40 △	S	漁業の6次産業化 支援事業	漁業者などによる養殖ワカメなどの地域 水産物の新たな販売モデル事業などの 導入実施に対する支援	漁協	H26～ <u>H28</u>	着手済	2	【現状】 ・各種支援制度の周知 ・ブランド化推進に関する協議会 を開催 ・ブランド化推進に関する研修会 へ出席 ・平成27年度より地域再生営漁 計画支援事業を実施し、ブランド 化推進の取り組みを支援してい る。 【課題】 ・漁協、漁業者と一丸となって事 業展開を図る必要がある	5,064		1,986				3,078				16	1,076	3,972							水産課	
41 △	S	大船渡産水産物安 定流通システム構 築事業	大船渡産水産物のトレーサビリティシス テムの普及並びに放射性物質の測定調 査、情報提供などにより安心・安全をア ピールするとともに、品質管理体制を向 上	市(魚市場) 漁協	H24～ <u>H28</u>	実施済		【現状】 ・放射性物質測定は、国・県によ る放射性物質調査に加え、関係 機関でその他品目の自主検査を 実施。 ・調査結果の公表は国・県中心 で、市は情報把握と市民への周 知を実施。 ・トレーサビリティシステムについ ては検討中。 ・平成26年度、高度衛生品質管 理計画を策定し、衛生管理及び 情報開示の体制づくりに取り組 み、平成27年度に大船渡市魚市 場水産物流通情報管理高度化 事業を完了するとともに、平成28 年4月に一般社団法人大日本水 産会より優良衛生品質管理市 場・漁港認定を受けた。 【課題】 ・トレーサビリティシステム導入 の必要性の検討と手法、対象魚 種の選定など。																					水産課
施策オ 水産関連施設の防災機能の向上を図るほか、集約化などにより効果的に整備します。																													
42 ◎	H	漁港関係施設等復 旧事業	被災した漁船、漁港などへの漂着物など の撤去、ガレキ処分	市	H23～H25	整理・統合等		【現状】 ・No.49海上ガレキ処理事業に統 合 【課題】																			水産課		
43 ○	H	漁港関係施設等復 旧事業(漁港施設)	被災した防波堤・岸壁・臨港道路など漁 港施設の復旧 県管理：門の浜、大船渡、綾里、越喜 来、崎浜、根白(6漁港) 市管理：碁石、泊里、蛸ノ浦、長崎、合 足、小路、野野前、砂子浜、小石浜、鬼 沢、泊、小壁、増館、吉浜、扇洞、千歳 (16漁港)	県・市	H23～ <u>H32</u>	着手済	4	【現状】 ・市内全22漁港(県営：6、市営： 16)の本復旧事業に着手 ・市営漁港における施設数(186 施設)ベースの着手率は99%→ 施設全部の使用を開始した施設 は163施設(一部の使用を開始し た施設を含めると174施設) ・未発注の施設は、防潮堤工事 と関連している施設であり、発注 の時期を見合わせている。 ・県において、大船渡漁港海岸と 綾里漁港海岸の完了時期をそ れぞれH31、H32まで延伸。 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要 がある	72,885,135	25,526,841	47,358,294				354,564	2,104,445	12,576,471	12,666,229	9,680,735	9,000,000	9,000,000	8,000,000	6,000,000	3,502,691			水産課		
44 ◎	H	漁港関係施設等災 害復旧事業(漁業集 落排水施設)	被災した漁業集落排水施設(処理場・管 路など)の復旧 ・蛸ノ浦地区、砂子浜地区、小石浜地 区、根白地区、千歳地区(5地区)	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・本復旧工事終了 【課題】 ・特になし	619,851	549,801		6,000		64,050	130,365	489,486											水産課		
追7 ◎	H	漁港施設機能強化 事業	地盤沈下被害を受けた千歳、扇洞、吉 浜、増館、小壁、泊、鬼沢、小石浜、砂子 浜、野野前、小路、合足、長崎、蛸ノ浦、 泊里、碁石の市営全16漁港の用地のか さ上げ	市	H24～ <u>H29</u>	着手済	4	有 【現状】 ・測量・設計委託業務終了 ・全16漁港のうち全漁港で工事 着手済→13漁港(扇洞、碁石、 鬼沢、小壁、千歳、増館、小路、 長崎、合足、小石浜、砂子浜、泊 里、吉浜)が終了 【課題】 ・災害復旧工事など関連事業と の調整が必要	920,000				690,000	230,000		26,708	167,494	146,520	213,982	120,000	245,296						水産課		

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
◎	S	水産業経営基盤復旧支援事業【再掲】	漁協などによる養殖施設などの共同利用施設の一括整備に対する補助	漁協	H23～H28	着手済		【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業実施中(平成25年度分まで完了、平成26年度事故繰越分及び平成27年度繰越分) 【課題】 ・事業を早期かつ適正に推進する必要がある																	水産課	
45◎	S	さけ・ます生産地震災復旧緊急支援事業	さけの種苗生産及び放流体制を回復させるため、漁協が運営するさけ・ますふ化場の整備に対する補助	漁協	H23～H27	実施済		【現状】 ・被災したさけ・ます種苗生産施設等の復旧事業を実施 【課題】 ・整備した施設の適正管理	391,713	261,141	43,523		43,523	43,526	228,019	54,830	17,750	42,936	48,178							水産課
46○	H	アワビの里復旧事業	つくり育てる漁業を推進するため、津波により被災したアワビ生産センターを復旧	市	H26～ <u>H32</u>	着手済	1	【現状】 ・検討の結果アワビ生産センター復旧を見送り、漁協が実施する種苗放流経費に補助を行う 【課題】 ・アワビ種苗放流を継続し、つくり育てる漁業を推進する	31,848					31,848					1,848	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	水産課
◎	S	水産業共同利用施設復旧支援事業(漁協、水産加工業協同組合など)【再掲】	漁協や水産加工業協同組合などが有する共同利用施設の早期復旧、再開に必要な機器などの整備や施設修繕に対する補助	漁協、水産加工業協同組合など	H23～H28	実施済		【現状】 ・各事業実施主体でそれぞれ事業を実施済。 【課題】 ・整備した施設の適正管理。																	水産課	
追3◎	H	水産業共同利用施設復興整備事業【再掲】	民間団体が行う機器類、生産流通加工施設など共同利用施設の整備に対する補助(復興交付金活用)	民間団体	H24～H28	着手済		【現状】 ・平成24年度認定事業数:47、事業完了43 ・平成25年度認定事業数:23、事業完了20 ・平成26年度認定事業数:16、事業完了15 【課題】 ・平成25年度認定分まで完了済。28年度事故繰越事業者分を、他事業との調整を図りつつ、早期かつ適正に実施する必要がある ・整備した施設の適正管理																	水産課	
47○	S	採介藻漁業復旧支援事業	漁協が行う採介藻漁業の再開に必要な紫外線海水殺菌装置などの整備に対する補助	漁協	H24～H25	整理・統合等		【現状】 ・No.26水産業共同利用施設復旧支援事業に統合 【課題】																	水産課	
施策力 持続可能な水産業の仕組みを模索します。																										
48◎	H	水産物等残渣処理事業	水産加工場冷蔵倉庫内の水産物など残渣の積込、搬出、運搬、処理及び搬出路の確保	市	H23～H26	実施済		【現状】 ・埋却していた水産物残渣の処理を実施 ・埋却地などの防疫処理を実施 【課題】 ・特になし	2,453,785	2,204,162	78,599			171,024	424,349	45,738	770,681	1,213,017								水産課
49◎	H	海上ガレキ処理事業	湾内の水質汚染や漁業への影響を考慮し、海上ガレキを撤去、運搬及び処理	市	H23～H28	着手済	2	【現状】 ・平成23・24年度は、委託により事業実施 ・平成25年度は、赤崎地区及び綾里地区でガレキ撤去実施 ・平成26年度以降は、漁業者などの情報に基づき、新たに発見されたガレキやボランティアダイバーが陸揚げしたガレキについて、都度対応 【課題】 ・事業終了後においても、ガレキが発見された際には、迅速に処理する必要がある	325,113	282,660	21,984			20,469	273,840	40,227	2,247	4,831	1,968	2,000						水産課
50◎	S	漁業者等再建緊急支援事業	漁業者などが行う漁場のガレキ撤去、回収作業などへの従事に係る賞金給付	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・県の緊急雇用創出事業を活用して事業実施 【課題】 ・経営再建までの雇用支援の継続	695,754		695,754				198,578	428,586	68,590								水産課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
51 ○	H	むらづくり研修施設 整備事業	市	H24～H27	実施済			【現状】 ・一部被災施設の修繕を実施済 ・流失施設の復旧は、関係者と 方向性を検討中 【課題】 ・未対応の被災箇所の修繕、流 失施設の復旧の方向性確定	987					987	987										水産課
◎	S	さけ・ます生産地震 災復旧緊急支援事 業【再掲】	漁協	H23～H27	実施済			【現状】 ・被災したさけ・ます種苗生産施 設等の復旧事業を実施 【課題】 ・整備した施設の適正管理																	水産課
○	H	アワビの里復旧事 業【再掲】	市	H26～H32	着手済			【現状】 ・検討の結果アワビ生産センター 復旧を見送り、漁協が実施する 種苗放流経費に補助を行う 【課題】 ・アワビ種苗放流を継続し、つく り育てる漁業を推進する																	水産課
△	S	漁業の6次産業化 支援事業【再掲】	漁協	H26～H28	着手済			【現状】 ・各種支援制度の周知 ・ブランド化推進に関する協議会 を開催 ・ブランド化推進に関する研修会 へ出席 ・平成27年度より地域再生営漁 計画支援事業を実施し、ブランド 化推進の取り組みを支援してい る。 【課題】 ・漁協、漁業者と一丸となって事 業展開を図る必要がある																	水産課
52 △	H	アサリ増殖場整備 事業	市	H24～H30	整理・統合等			【現状】 ・No.追8大船渡湾内干潟造成事 業に統合 【課題】																	水産課
追8 ○	H	大船渡湾内干潟造 成事業	市	H24～H28	着手済	4		【現状】 ・測量設計業務委託(平成25年 度測量設計内容の修正と新規 箇所分) ・造成工事に着手 【課題】 ・造成適地の選定、最適な工法 の検討	617,900	308,900	61,780			247,220			37,800	20,000	96,000	464,100					水産課
△	S	漁業就業相談会参 画事業【再掲】	岩手県 漁 連	H23～H27	実施済			【現状】 ・県や県漁連と連携して開催(平 成26年度は東京都にて) 【課題】 ・対象者の掘り起こしや開催方 法の改善が必要である																	水産課

事業区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済細分	復興交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
△	S	大船渡産水産物安定流通システム構築事業【再掲】	大船渡産水産物のトレーサビリティシステムの普及並びに放射性物質の測定調査、情報提供などにより安心・安全をアピールするとともに、品質管理体制を向上	市(魚市場)漁協	H24～H28	実施済		【現状】 ・放射性物質測定は、国・県による放射性物質調査に加え、関係機関でその他品目の自主検査を実施。 ・調査結果の公表は国・県中心で、市は情報把握と市民への周知を実施。 ・トレーサビリティシステムについては検討中。 ・平成26年度、高度衛生品質管理計画を策定し、衛生管理及び情報開示の体制づくりに取り組み、平成27年度に大船渡市魚市場水産物流通情報管理高度化事業を完了するとともに、平成28年4月に一般社団法人大日本水産会より優良衛生品質管理市場・漁港認定を受けた。 【課題】 ・トレーサビリティシステム導入の必要性の検討と手法、対象魚種の選定など。																	水産課
方針④ 農林業のあり方を検討し、振興策を見出します。																									
施策ア 遊休農地の有効利用を踏まえながら、被災した農地などを早期に復旧します。																									
53◎	H	農地等災害復旧事業	津波の浸水による被害農地・農業用施設の復旧 ・堆積土砂撤去、除塩、客土、整地 ・農業用道路、水路などの復旧	県	H23～H28	着手済	4	【現状】 ・平成24年度復旧面積：15.0ha ・平成25年度復旧面積：5.0ha ・平成26年度復旧面積：1.0ha 【課題】 ・復旧済農地の石礫除去	453,739		453,739					271,350	102,875	43,936	5,578	30,000					農林課
54◎	H	農業用施設災害復旧事業	農業用施設の復旧 ・農業用道路、水路	県	H23～H25	整理・統合等		【現状】 ・No53農地等災害復旧事業に統合 【課題】																	農林課
55○	H	農用地災害復旧関連区画整理事業(復興基盤総合整備事業)	生産性・収益性の高い農業の実現のため、災害復旧と併せて圃場などを整備 ・吉浜地区(大野地区を含む)61ha(うち、ぼ場整備47ha)を復興交付金事業で実施	県	H24～H29	着手済	4	有	1,981,000		1,981,000					20,000	1,000,000	530,000	230,000	120,000	81,000				農林課
56◎	S	東日本大震災農業生産対策交付金事業	被災した農業関連の共同利用施設などの復旧や共同利用農業機械の導入を支援	市農協 農業者の組織する団体	H23～H28	着手済	4	【現状】 ・平成28年度は1団体が事業実施予定 【課題】 ・事業実施主体の財源確保 ・規模拡大による面積要件の確保	199,835	82,959	20,484		61,414	34,978		31,965	119,923	34,057	12,120	1,770					農林課
57◎	S	被災農家経営再開支援事業	津波などの被害を受けた農地の復旧作業を共同で行う農業者に対し、復興組合を通じて経営再開支援金を支給 ・支援単価限度額：水田作物 3.5万円/10a、露地野菜(花きを含む) 4.0万円/10a	地域復興組合	H23～H25	実施済		【現状】 ・事業終了(吉浜、合足及び田浜の3地域で実施) 【課題】 ・特になし	22,852	22,852					10,242	8,607	4,003								農林課
58◎	H	小規模農地等災害復旧事業(県単独事業)	被災した農地・農業用施設について、国の災害復旧事業制度の対象とならない小規模な災害復旧を支援 ・1農家あたり工事費の合計額が13万円以上	市 受益農家	H23	整理・統合等		【現状】 ・被災農地の被害状況を調査した結果、事業該当箇所なし 【課題】																	農林課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)											担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
59 ◎	H	被災農地小規模災害復旧事業(市単独事業)	被災した農地について、国庫補助事業及び県単独事業の対象とならない小規模な災害復旧事業を実施 ・1農家あたり事業費の合計が13万円未満	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・事業終了 【課題】 ・特になし	3,534					3,534	1,424	2,110											農林課
60 △	H	中山間地域総合整備事業	農業生産基盤の整備 ・三陸町吉浜大野地区 区画整理 27.1ha 客土 18.9ha 暗渠排水 13.5ha	県	H23～H29	整理・統合等		【現状】 ・No.55農用地災害復旧関連区画整理事業(復興基盤総合整備事業)に統合 【課題】																			農林課
61 △	S	三陸みらい園芸産地づくり交付金事業	夏季冷涼で冬季温暖な三陸地域の気象条件を生かした、高収益施設園芸品目のハウスなどの生産施設整備を支援 ・品目:トマト・いちごなど果菜類・ほうれん草	農業者で組織する団体など市農協	H24～H26	整理・統合等		【現状】 ・県において要綱が決定 ・市においては該当なし 【課題】																			農林課
62 ○	S	農山漁村活性化プロジェクト支援(復興対策)事業	被災した産直施設、食材供給施設などの復旧を支援 ・平成24年度:菌床椎茸ハウス(50坪) 6棟 ・平成25・26年度:菌床椎茸等処理加工・集出荷施設(645.33㎡) 1棟	市農協	H24～H26	実施済	有	【現状】 ・平成24年度分は事業終了 ・平成25年度分は着手済(平成26年度に繰越) ・平成26年7月17日契約済 ・平成26年12月18日完了 【課題】 ・特になし	222,287	143,584				39,543	39,160		114,450		107,837								農林課
追9 ○	S	岩手県特有用林産施設等体制整備事業	津波などにより被災した菌床しいたけホタテの復旧支援	市農協	H23～H24	実施済		【現状】 ・事業終了 【課題】 ・特になし	65,202	31,048	12,073			10,003	12,078		65,202										農林課
63 ◎	H	海岸保全施設災害復旧事業	被災した農地海岸保全施設に係る応急的な復旧や、新たな基準に基づく海岸堤防の復旧・整備を実施 ・海岸保全施設:吉浜、沖田、合足	県	H23～H28	着手済	4	【現状】 ・沖田:防潮堤復旧工事終了 ・合足:堤体工事終了 ・吉浜:離岸堤工事終了、防潮堤復旧工事進捗中 【課題】 ・特になし	3,552,462		3,552,462					127,455	40,001	531,404	902,560	1,177,521	773,521						農林課
◎	H	防災集団移転促進事業【再掲】	居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団移転の促進 ・住民の意向を踏まえて移転促進区域を設定するほか、住宅団地の整備、移転者に対する助成などを行う ・住宅団地の規模は5戸以上(移転しようとする住居の数が10戸を超える場合には、その半数以上の戸数) ・土地利用にあたっては、所有者の意向を確認しながら遊休農地の活用を図る ・移転後の跡地については、再び住宅が建設されて危険が生じることのないよう、条例により建築基準法第39条の規定による災害危険区域として指定する	市	H23～H29	着手済	有	【現状】 ・全21地区において事業実施中 ・うち20地区(大船渡地区、峰岸地区、神坂地区、細浦地区、小細浦地区、小河原地区、梅神地区、門之浜地区、泊里地区、佐野地区、中赤崎地区の一部、清水地区、蛸ノ浦地区、田浜地区、港・岩崎地区、泊地区、浦浜南地区、浦浜仲・西地区、浦浜東・甫嶺地区、崎浜地区)で団地整備工事が完了し、宅地を引渡すとともに、住宅移転費用の補助、被災跡地買取りを実施している 【課題】 ・事業の早期実施																	復興政策課市街地整備課		
施策イ 地産地消の取り組みを進めるなど、農林業振興を図ります。																											
64 △	H	むらづくり研修施設整備事業(地域防災コミュニティセンター整備事業)	防災機能を兼ね備えた集会施設整備(2施設) ・合志地域防災コミュニティセンター ・甫嶺地域防災コミュニティセンター	市	H25～H27	整理・統合等		【現状】 市民生活の復興のNo.新「地域防災コミュニティセンター整備事業」に統合																			農林課
65 ◎	S	岩手県木材加工流通施設等復旧対策事業	津波によって流失・損壊した高性能林業機械の再整備を支援	気仙地方森林組合	H24	実施済		【現状】 ・事業終了 【課題】 ・特になし	30,135		30,135					30,135											農林課
66 ◎	S	森林組合機能回復支援事業	森林組合機能の早期回復に不可欠な機器整備などを支援	市	H23	実施済		【現状】 ・森林組合において機器などを復旧 【課題】 ・同組合三陸支所の事務スペースの確保	174						174	174											農林課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
67 ○	S	木材供給等緊急対策事業	・市内木材加工会社の生産、電力、熱利用などの施設整備を支援 ・市内木材加工会社を中心にバイオマス燃料の生産、電力、熱利用などの施設整備を支援	森林組合・素材生産業者・木材加工業者	H23～	整理・統合等		【現状】 ・市においては該当なし 【課題】																	農林課	
68 ○	S	(仮称)県産木材利用復興住宅促進事業	震災により住宅を失った住民が、居宅を一定割合以上の県産材を使用して建設する場合などに、地域型商品券や住宅設備費と交換可能な復興住宅ポイントを付与	県	H24～H26	整理・統合等		【現状】 ・市民生活の復興のNo.追4生活再建住宅支援事業(復興住宅新築補助金)、No.追5生活再建住宅支援事業(被災住宅補修等補助金)に統合 【課題】																	農林課	
69 ○	S	塩害被害木除去事業	東日本大震災津波に起因する枯損した塩害木の除去作業を森林組合に委託して実施	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・事業終了 【課題】 ・特になし	17,211	15,480	1,548	183			7,634	9,577									農林課	
△	S	三陸みらい園芸産地づくり交付金事業【再掲】	夏季冷涼で冬季温暖な三陸地域の気象条件を生かした、高収益施設園芸品のハウスなどの生産施設整備を支援 ・品目:トマト・いちごなど果菜類・ほうれん草	農業者で組織する団体など市農協	H24～H26	整理・統合等		【現状】 ・県において要綱が決定 ・市においては該当なし 【課題】																	農林課	
70 ◎	H	東日本大震災復旧・復興卸売市場施設災害復旧事業	早急に生鮮食料品などの安定的な供給体制を確保するため、被災した地方卸売市場の復旧及び機能高度化を支援	市場開設者	H23～H24	実施済		【現状】 ・復旧等工事終了 【課題】 ・特になし	233,730	110,416	28,046		67,222	28,046		233,730									農林課	
方針⑤ 商業の早期再建を図ります。																										
施策ア 仮店舗や共同店舗の整備などにより、早期の事業再開を支援します。																										
71 △	S	商店街活性化対策事業	商店街の販売促進や集客事業に対する補助	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・平成23・24年度は復興への希望の明かりを灯す盛町夏祭り事業などへ助成 ・中心市街地活性化に関する情報交換会などへの参加 【課題】 ・特になし	2,548					2,548	1,025	1,521	2									商工課
72 △	S	被災商店街にぎわい支援事業	商店街のコンセプトづくりや活性化を図る取り組みを支援 ・専門家の招へい ・被災した商店街の賑わいの回復や人を呼び込むための事業	県	H24～	着手済	2	【現状】 ・被災市町村の商業機能復旧や新たな商店街構築に向けた支援を実施 【課題】 ・事業についての情報共有																	商工課	
73 △	S	事業協同組合等の共同施設復旧補助事業	事業協同組合などの共同施設・設備の復旧に対する補助 ・補助率: 国1/2、県1/4 ・要件: 復旧経費が30万円以上の施設	国・県	H23～H24	実施済		【現状】 ・市内4組合が事業を実施(平成24年度で事業終了) 【課題】 ・特になし	215,483	90,531	45,266		79,686		215,483										商工課	
74 ◎	S	中小企業被災資産修繕補助事業	中小企業の現有店舗・工場などの修繕に対する補助 ・対象事業者: 被災した沿岸地域の中小小売業者、サービス業者など ・対象経費: 災害復旧に伴う修繕に要する経費 ・補助率: 1/2以内の額	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・補助金交付済事業所: 38事業所(平成28年9月末現在) 【課題】 ・特になし	243,212		121,606			121,606	207,711	30,684	4,817								商工課	
追10 ◎	S	中小企業被災資産復旧補助事業	中小企業の滅失した店舗・工場などの復旧に対する補助 ・対象事業者: 被災した沿岸地域の中小小売業者、サービス業者など ・対象経費: 被災資産・設備などの復旧に要する経費 ・補助率: 1/2以内の額	市	H24～	着手済	4	【現状】 ・平成24年度から平成27年度までに、限度額の見直しによる追加申請も含め、97事業所120件が補助決定 平成28年度も、4～5月と10～11月の2回に分けて申請を受け付けることとし、1回目の申請受付で2件が補助決定(平成28年9月末現在) 【課題】 ・財源の確保	291,247		145,624		145,623			126,826	95,980	11,982	42,476	13,983					商工課	

事業区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済細分	復興交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
◎	H	仮設店舗等貸与事業【再掲】	中小企業基盤整備機構 綾里黒土田総合運動公園駐車場 末崎町小細浦地区 大船渡町茶屋前地区 大船渡町野々田地区 など ・支援期間：原則入居から2年間	中小企業基盤整備機構市	H23～	着手済		【現状】 ・81カ所496区画を整備（平成26年12月末現在） ・完成施設から随時営業を開始 ・仮設施設貸与事業の今後の運営方針を策定（平成27年7月） ・地権者などの意向により、16カ所135区画の施設を撤去（平成28年9月末現在） ・譲渡方針を策定（平成27年11月） 【課題】 ・施設譲渡に係る事務調整（建築確認）																	商工課
75◎	H	多機能型複合施設整備事業	被災した老人福祉施設を活用した商業施設などの複合施設の整備	事業者市	H23～H25	整理・統合等		【現状】 ・ある資金支援に応募するも採択されず、越喜来地区復興委員会としても施設解体に同意 【課題】 ・特になし																	長寿社会課
施策イ 被災した商店街については、防災機能や利便性の向上などを考慮して再整備されるよう支援します。																									
△	S	津波避難ビル等の指定【再掲】	浸水想定区域内において構造的要件を満たす施設を津波避難ビルなどとして指定	市	H23～	検討中		【現状】 ・高台への迅速な避難を基本とし、津波浸水区域内の土地利用が具体化した時点で避難困難地域の設定について検討する ・大船渡地区津波復興拠点整備事業により整備される施設の指定について検討中 【課題】 ・浸水区域の復興状況を踏まえて検討する必要がある																	防災管理室
追9◎	S	大船渡駅周辺の産業誘致・振興に向けた調査事業【再掲】	大船渡駅周辺地区を対象に市街地の再整備に係る諸事業と整合を図りながら、魅力ある新たなまちづくりと産業振興を目指すし、市民や来訪者にとって価値のあるブランドを構築するための調査	市	H24	実施済	※有	【現状】 ・事業終了 【課題】 ・津波復興拠点整備事業への反映 ・民間事業者との共通理解																	環境未来都市推進室
方針⑥ 観光産業の早期再建を図ります。																									
施策ア 被災した観光資源・施設を復旧します。																									
76△	S	大船渡市観光物産協会運営支援事業	観光物産振興の核となる観光物産協会への補助	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・補助金を交付し、誘客事業などを支援 【課題】 ・事務所の早期再建 ・協会の法人化（一般社団法人）を受けた市との役割分担の明確化及び早期の自立	110,162					110,162	10,862	11,300	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	観光推進室
77○	S	観光施設整備事業	碁石海岸などの観光施設の復旧と今後の施設整備に係る調査・検討 ・案内板の整備 ・海水浴場避難路などの検討.	市	H23～	整理・統合等		【現状】 ・No.81国立公園の再編事業（三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン振興）に統合 【課題】 ・特になし																	観光推進室
78○	S	県北沿岸地域観光力強化支援事業	県北沿岸部の観光力を強化するため、観光素材を生かす人材、仕組及び産業間の連携を促進	県	H23～H25	実施済		【現状】 ・中核コーディネーターを1人配置済 ・JR、三陸鉄道合同による「駅-1グルメ」を企画・実施 【課題】 ・特になし																	観光推進室
施策イ 観光関連イベントを復活するほか、復興に係るキャンペーンを実施します。																									

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課			
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
79 ○	S	いわてデスティネーションキャンペーン推進事業	推進協議会	H23～H25	実施済			【現状】 ・平成23年度はブレキャンペーンを実施 ・平成24年4月から6月まで、各種宣伝・誘客事業及び受入態勢事業実施(期間中の県内観光客数は約736万8千人) ・平成25年度から推進協議会の名称を変更し、「岩手観光キャンペーン推進協議会」として事業を継続 【課題】 ・JR大船渡線の復旧と旅行者の二次交通の確保(現在:BRTによる代替交通)	283						283	106	106	71									観光推進室	
80 △	S	未知の奥・平泉観光振興事業	県	H23～H25	実施済			【現状】 ・平成23年7月から首都圏JR駅などにポスターを掲示 ・平成24年度以降は、上記いわてDCを通じて総合的に実施 【課題】 ・平泉町から当市への誘客、移動手段の確保																		観光推進室		
81 △	S	国立公園の再編事業(三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興)	国	H23～H26	実施済			【現状】 ・平成25年5月に三陸復興国立公園が創設 ・環境省による「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」計画に基づき、基石集団施設地区園地・野営場を整備済 ・平成26年7月より供用開始(基石海岸キャンプ場、インフォメーションセンター) ・平成27年4月よりレストハウス駐車場を整備し、供用開始 【課題】 老朽化した手摺や遊歩道の修繕	762,061	762,061						34,881	167,826	559,354										観光推進室
82 △	H	三陸海岸長距離歩道整備事業(三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興)	国	H24～H27	実施済			【現状】 ・国において整備中 ・平成25年11月に八戸市から久慈市まで開通 ・平成26年10月に(福島県)新地町から相馬市まで開通 ・平成27年9月14日金石～大船渡市までのルート開通 【課題】 ・遊歩道のルート見直し																		観光推進室		
施策ウ 農漁業体験などによる新たな観光振興を図ります。																												
追11 ○	S	観光資源調査開発事業	市	H24～H25	実施済		※有	【現状】 ・大船渡ブランドブックを作成 【課題】 ・意見などの的確な反映 ・事業成果の継承	17,430						13,944	3,486		17,430									観光推進室	
追12 ○	S	観光振興ビジョン策定事業	市	H25～H26	実施済		※有	【現状】 ・市観光ビジョンについて、市議会、関係団体、市民より意見聴取、パブリックコメントを実施し、平成26年9月に策定 【課題】 ・特になし	26,198						20,958	5,240		26,198									観光推進室	
83 △	S	体験インストラクター養成事業	市	H24～	着手済	1		【現状】 ・県などが開催する研修会に体験提供者などを派遣 【課題】 ・インストラクター候補者の高齢化	845							845	100	100	100	361	184						観光推進室	
84 △	S	安全・安心グリーン・ツーリズム展開事業	県	H23～	着手済	1		【現状】 ・観光団体などと連携してグリーン・ツーリズム旅行者の誘客に向けたPR活動を実施 ・機会をとらえて情報を発信 【課題】 ・震災による体験メニューの減少 ・新メニューの開発・発掘																		観光推進室		

事業区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済細分	復興交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課		
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
85 ○	S	被災地でのボランティア体験事業	首都圏の企業や個人を対象としたボランティアツアーの実施 ・被災地でのボランティア活動 ・被災地住民との交流	民間	H24～	着手済	2	【現状】 ・ボランティアツアー、震災関連ツアー自体が減少 【課題】 ・ツアー内容の再編																		観光推進室	
施策エ 平泉の「世界文化遺産」登録や「ジオパーク」認定と連動した誘客活動を実施します。																											
○	S	いわてデスティネーションキャンペーン推進事業【再掲】	沿岸の復興支援と内陸観光振興に向けた全国への情報発信、誘客事業の展開、地域主体の観光地づくりを推進 ・宣伝、誘客事業の実施 誘客イベント、情報発信など ・受入態勢整備事業 歓迎イベント、二次交通対策など（キャンペーン回数：年1回）	推進協議会	H23～H25	実施済		【現状】 ・平成23年度はプレキャンペーンを実施 ・平成24年4月から6月まで、各種宣伝・誘客事業及び受入態勢事業実施（期間中の県内観光客数は約736万8千人） ・平成25年度から推進協議会の名称を変更し、「岩手観光キャンペーン推進協議会」として事業を継続 【課題】 ・JR大船渡線の復旧と旅行者の二次交通の確保（現在：BRTによる代替交通）																		観光推進室	
86 △	S	広域連携観光振興事業	岩手県観光協会など広域で連携した観光宣伝や観光客誘致を実施 ・岩手県観光協会 ・東北都市観光協議会 ・三陸復興国立公園協会 ・三陸・けせん観光協議会 ・黄金王国推進委員会 ・三陸ジオパーク推進協議会	協議会など	H23～	着手済	1	【現状】 広域での観光宣伝などに市が参画 【課題】 ・団体間における事業内容の重複の解消	14,642					14,642	1,840	1,034	1,050	2,030	1,944	2,048	1,174	1,174	1,174	1,174	観光推進室		
△	H	博物館常設展示改修事業【再掲】	・津波災害を普及、継承するため、エントランスホール、シアター、荒れ狂う海・津波コーナーなどを改修し、明治三陸津波、チリ地震津波、東日本大震災の資料、映像、写真などを展示 ・平成25年9月に日本ジオパークに認定された「三陸ジオパーク」の情報や資源価値などを展示	市	H24～	着手済		【現状】 ・「三陸ジオパーク」のミニコーナーを開設し、ジオパークをPRするパネルの展示、関係パンフレット等の配布を実施 ・津波災害に係る資料、情報などを収集するとともに、展示内容を検討中 【課題】 ・資料及び情報の収集・選択・評価に一定期間が必要である ・関係機関との展示内容の調整																	博物館		
方針⑦ 地場産業の活力により、産業・経済を活性化します。																											
施策ア 既存企業の再生を支援します。																											
87 ◎	S	中小企業融資あっせん事業	事業資金を融資するため、各金融機関へ原資を預託 ・小口資金：限度額 1,250万円 ・中口資金：限度額 3,750万円 ・開業資金：限度額 1,250万円 ・経営安定資金：限度額 2,500万円	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・平成23年度～平成27年度の融資実行件数：658件（平成28年9月末現在） ・平成27年度融資実行件数：154件（平成28年9月末現在） 【課題】 ・融資制度利用の周知	3,434,000					3,434,000		405,000	305,000	312,000	432,000	380,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	商工課
88 △	S	中小企業振興事業	中小企業者で組織する団体などの実施事業に対する補助 ・対象事業：異業種交流、新商品開発促進、販売促進、人材養成など ・補助率：対象経費の1/2以内	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・平成24年度交付件数：3件 ・平成25年度交付件数：6件 ・平成26年度交付件数：8件 ・平成27年度交付件数：6件 ・平成28年度交付決定件数：8件（平成28年9月末現在） 【課題】 ・適切な補助対象の検討	29,534					29,534		1,585	2,448	3,798	2,630	3,073	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	商工課	
89 ○	S	中小企業特別対策事業	中小企業特別対策事業の実施 ・広報紙「しおさい」の発行 ・調査、相談業務	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・大船渡商工会議所へ委託して「しおさい」を発行 【課題】 ・広報しおさい配布先等の継続検討	28,760					28,760	2,912	2,912	2,912	2,912	2,552	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	商工課	
90 ◎	S	中小企業融資補給事業	融資を利用した中小企業者へ保証料及び利子を補給 ・中小企業融資保証料の負担 ・中小企業融資利子補給の実施	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・市融資制度利用事業所へ1.5%の利子補給を実施 ・保証料を全額負担 【課題】 ・融資制度利用の周知	731,708					1,224	730,484	78,823	54,440	54,043	51,002	88,400	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	商工課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
◎	S	中小企業被災資産 修繕補助事業 【再掲】	市	H23～H25	実施済			【現状】 ・補助金交付済事業所：38事業所 (平成28年9月末現在) 【課題】 ・特になし																		商工課
追 10 ◎	S	中小企業被災資産 復旧補助事業 【再掲】	市	H24～	着手済			【現状】 ・平成24年度から平成27年度までに、限度額の見直しによる追加申請も含め、97事業所120件が補助決定 平成28年度も、4～5月と10～11月の2回に分けて申請を受け付けることとし、1回目の申請受付で2件が補助決定 (平成28年9月末現在) 【課題】 ・財源の確保																		商工課
91 ◎	S	被災工場再建支援 事業	市	H23～H24	整理・統合等			【現状】 ・申請なし 【課題】 ・各種補助事業に該当しない事業者への支援																		商工課
92 ○	S	物産販路拡大事業	市	H23～	着手済	1		【現状】 ・各地での各種物産展の開催や出店を展開 ・震災後、東京、名古屋、大阪をはじめ、全国各地での被災地支援イベントへ参加 【課題】 ・被災地支援などでの交流を機に販路開拓につなげる必要がある	25,261		1,189			24,072	1,467	2,387	2,473	3,158	3,110	3,026	2,410	2,410	2,410	2,410	2,410	観光推進室
93 ◎	S	東日本大震災中小 企業復旧資金利子 補給事業	市	H23～H34	着手済	2		【現状】 ・利子補給承認額：69,743千円 ・申請件数：106件 【課題】 ・特になし	69,743				69,743		1,522	13,110	11,952	10,032	8,540	7,500	6,500	5,500	3,500	1,587	商工課	
施策イ 地場産業の連携・高度化や新たな分野での起業などを支援します。																										
94 △	S	いわてものづくり産 業人材育成事業	県	H23～	着手済	1		【現状】 ・県内5つのものづくりネットワー クが、各地域の工業高校の技能 検定講習などをサポートしている 【課題】 ・実施状況についての情報共有																		商工課
施策ウ 北里大学など関係機関との産学官連携の取り組みを推進します。																										
◎	S	北里大学海洋生命 科学部早期再開促 進事業【再掲】	市	H23～	着手済			【現状】 ・平成25年10月に北里大学三陸 キャンパス活用検討協議会を設立 ・平成26年4月1日に北里大学が、北 里大学海洋生命科学部附属三陸臨 海教育研究センターを開設 ・三陸臨海教育センターでの学生及 び教職員の活動を支援するため、平 成26年7月に「大船渡市北里大学海 洋生命科学部附属三陸臨海教育研 究センター活動支援補助金交付要 綱」を策定→平成26年以降、毎年夏 期に海洋生命科学部が海洋実習を 実施 ・三陸臨海教育センターの施設整備 を支援するため、平成27年4月「大 船渡市北里大学海洋研究拠点施設 整備費補助金交付要綱」を策定→ 平成27年4月から三陸臨海教育セン ターの施設整備を実施し、7月に完 了 【課題】 ・三陸キャンパスの活用促進 ・上記以外の支援内容																	北里大学 再開推進室	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課			
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
95 ○	S	産学官連携交流促進支援事業	市	H23～	着手済	1		【現状】 ・共同研究事業について、補助金交付済 ・平成24年度実績:2件 ・平成25年度実績:1件 ・平成26年度から共同研究先に岩手大学を追加 ・平成26年度実績:3件 ・平成27年度から北里大学全学部を共同研究先とした ・平成27年度実績:3件 ・平成28年度補助決定:5件 【課題】 ・北里大学・岩手大学と市内企業による共同研究事業の実施形態・内容について検討する必要がある	40,800					40,800		2,400	1,200	3,600	3,600	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	商工課
◎	S	北里大学海洋生命科学部施設利用促進事業【再掲】	市	H23～	着手済			【現状】 ・体育館やグラウンドなどの施設は、地元小・中学校や市内のスポーツ少年団が活用している 【課題】 ・特になし																			北里大学 再開推進室	
96 △	S	三陸町養殖海域の水質調査事業	市	H23～H32	着手済	1		【現状】 ・平成23～27年度事業終了 ・平成28年度事業実施中 【課題】 ・北里大学海洋生命科学部との連携・協力体制の確保	9,597					9,597	903	945	945	972	972	972	972	972	972	972	972	972	972	水産課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
方針① 被災した都市基盤施設を早期に復旧するとともに、防災機能向上のために必要な整備を行います。																										
施策ア 道路・河川、港湾施設などを復旧します。																										
1 ◎	H	道路復旧事業	被災した道路の復旧 ・主要地方道大船渡綾里三陸線 ・主要地方道大船渡広田陸前高田線 ・県道丸森権現堂線 ・県道碁石海岸線 ・県道崎浜港線 ・市道野々田川口橋線ほか	国・県・市	H23～	着手済	4	※有	【現状】 ・災害査定箇所：市道114カ所、市橋梁3カ所 ・工事発注箇所：市道113カ所（完了）、市橋梁3カ所（2カ所工事終了） 【課題】 ・防潮堤など他施設・工事との関連で調整・検討を要する	1,667,659	1,057,350	607,905			2,404	595,491	737,777	78,717	81,392	141,834	32,448					建設課
2 ○	H	道路新設・改良事業	高台や防災拠点へのアクセス道路、災害時の避難路、緊急車両が進入できない狭隘道路、地盤沈下により冠水する道路、浸水区域内のまちづくりと一体となった道路などの整備 ・多重防災型まちづくり推進事業による県道整備（岩手県復興計画） ・三陸復興道路整備事業による県道整備（岩手県復興計画） 主要地方道大船渡広田陸前高田線 主要地方道大船渡綾里三陸線 県道崎浜港線 県道碁石海岸線 ・市道沢田宮野線、永沢線、峰岸線、吉浜漁港線、野々田川口線ほか	県・市	H23～	着手済	3	有 ※有	【現状】 県道：道路計画について用地測量などを実施中 市道：20路線の測量設計・工事発注済、8路線で工事終了 ・道路計画策定事業に着手済 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある ・三陸沿岸道路は集中復興期間終了後の財源が未確定 ・復興交付金事業は、復興計画期間終了後も事業が継続することが見込まれるが、財源が未確定	8,022,722		4,472,876		2,838,876	710,970		286,148	893,719	2,943,563	1,092,326	2,079,966	460,000	267,000			建設課
3 ◎	H	河川復旧事業	被災した河川の復旧 ・盛川、須崎川、船河原川、立根川、後ノ入川、合足川、甫嶺川、泊川、浦浜川、吉浜川（県管理河川） ・門ノ浜川、大田川、中村川、小石浜川、白浜川ほか9河川（市管理河川）	県・市	H23～	着手済	4		【現状】 ・災害査定箇所：市管理河川2カ所 ・工事発注箇所：市管理河川1カ所→工事終了 ・県管理河川（盛川ほか）についても発注済 【課題】 土地利用計画との調整を図る必要がある	4,173,742	13,162	4,044,083	116,497		1,957	382,798	1,140,108	2,648,879								建設課
4 ○	H	林道整備事業	主要道を補完する林道の開設 ・林道平根線 施工延長 5,500m ・林道甫嶺線 施工延長 6,000m	県・市	H23～H32	着手済	3		【現状】 ・平根線は工事発注済 ・甫嶺線は工事発注済 【課題】 ・立木捕縄の意向確認	1,800,000		1,800,000			6,504	43,685	276,680	298,266	60,995	102,434	260,000	260,000	260,000	231,436	農林課	
5 ◎	H	林道改修事業	既存の林道の拡幅改修などによる主要道補完路の整備 ・林道増館線 施工延長 4,721m ・林道赤崎線 施工延長 18,377m ・林道箱根山線 施工延長 3,598m ・林道箱根山線 待避所設置 8カ所 ・林道蛸ノ浦線 施工延長 1,400m	市	H23～H32	着手済	3	有	【現状】 ・箱根山線は工事終了 ・蛸ノ浦線：市道蛸ノ浦合足線～フレアイランド尾崎岬間（400m）は工事終了→未舗装部分（1,000m）も工事終了 【課題】 ・増館線及び赤崎線の改修計画作成	114,196	48,202		46,000	19,994	74,361	19,220	976			5,000	5,000	5,000	4,639	農林課		
6 ◎	H	林道施設災害復旧事業	被災した林道の法面などの復旧 ・林道増館線 5カ所 ・林道赤崎線 7カ所	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・事業終了 【課題】 ・特になし	142,589	137,942				4,647	142,589									農林課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)											担当課		
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
7 ○	H	河川改修事業	県・市	H23～	着手済	3	※有	【現状】 ・須崎川河川改修事業の設計に着手済 ・下欠水路改修事業の工事発注済 【課題】 ・土地利用計画や道路改良事業などと調整を図りながら、事業を実施する必要がある	3,042,638	46,423	2,940,902	29,100	19,492	6,721			30,000	19,455	1,026,183	1,967,000								建設課
8 ◎	H	港湾施設復旧事業	国・県	H23～	着手済	4		【現状】 ・野々田地区、茶屋前地区及び赤土倉地区の港湾施設は、平成27年度内の復旧完了に向け工事中 ・永浜・山口地区及び清水地区の港湾施設は、平成28年度内の復旧完了見込み 【課題】 ・防潮堤などの復旧について、まちづくりとの整合を図る必要がある	37,646,000	560,000	37,086,000				115,000	1,138,000	6,484,000	13,847,000	13,846,000	2,216,000							企業立地港湾課	
施策イ 湾口防波堤については、湾内の水質環境に十分配慮のうえ復旧します。																												
9 ◎	H	湾口防波堤復旧事業	国・県	H23～	着手済	4		【現状】 ・国において、潮流・水質・底質環境の現地調査や潮流・水質変化の予測シミュレーション、防波堤整備後の水質保全効果に関する評価・検討などを実施中 ・平成28年度内の復旧完了に向け工事中 【課題】 ・復旧工事が湾内環境に与える影響について、検討を継続する必要がある	20,000,000	20,000,000					200,000	5,000,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000							企業立地港湾課	
◎	H	港湾施設復旧事業【再掲】	国・県	H23～	着手済			【現状】 ・野々田地区、茶屋前地区及び赤土倉地区の港湾施設は、平成27年度内の復旧完了に向け工事中 ・永浜・山口地区及び清水地区の港湾施設は、平成28年度内の復旧完了見込み 【課題】 ・防潮堤などの復旧について、まちづくりとの整合を図る必要がある																			企業立地港湾課	
10 △	S	環境関連調査事業	市	H23～H32	着手済		1																					【現状】 ・水質や底生生物など、平成27年度調査を実施 【課題】 ・湾の水環境を継続して調査し、震災前後での水環境の状況の変化を把握する必要がある ・湾口防波堤の復旧による湾の水環境への影響について、関係機関と連携しながら注視する必要がある
施策ウ 地盤沈下状況などを十分考慮しながら、海岸保全施設を早期に復旧します。																												
◎	H	港湾施設復旧事業【再掲】	国・県	H23～	着手済			【現状】 ・野々田地区、茶屋前地区及び赤土倉地区の港湾施設は、平成27年度内の復旧完了に向け工事中 ・永浜・山口地区及び清水地区の港湾施設は、平成28年度内の復旧完了見込み 【課題】 ・防潮堤などの復旧について、まちづくりとの整合を図る必要がある																			企業立地港湾課	

事業 区分		事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)										担当課		
										事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
											国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
追1 ◎	H	海岸施設災害復旧 事業	被災した海岸施設に係る応急的な復旧 や、新たな基準に基づく海岸防潮堤、水 門などの復旧を実施するとともに、地域 住民に親しまれていた海水浴場としての 砂浜を復旧 ・海岸施設:越喜来地区、下甫嶺地先	県	H23～H27	実施済			【現状】 ・海岸防潮堤高さをT.P+11.5m に設定 ・越喜来地区海岸の仮防潮堤工 事は終了 ・平成25年3月に工事発注済 【課題】 ・隣接海岸災害復旧事業など関 連事業との調整が必要	5,133,975		5,133,975					1,755,810	2,371,845	1,006,320								建設課	
◎	H	海岸保全施設災害 復旧事業【再掲】	被災した農地海岸保全施設に係る応急 的な復旧や、新たな基準に基づく海岸堤 防の復旧・整備を実施 ・海岸保全施設:吉浜、沖田、合足	県	H23～H28	着手済			【現状】 ・沖田:防潮堤復旧工事終了 ・合足:堤体工事終了 ・吉浜:離岸堤工事終了、防潮堤 復旧工事進捗中 【課題】 ・特になし																		農林課	
○	H	漁港関係施設等復 旧事業(漁港施設) 【再掲】	被災した防波堤・岸壁・臨港道路など漁 港施設の復旧 県管理:門の浜、大船渡、綾里、越喜 来、崎浜、根白(6漁港) 市管理:基石、泊里、蛸ノ浦、長崎、合 足、小路、野野前、砂子浜、小石浜、鬼 沢、泊、小壁、増館、吉浜、扇洞、千歳 (16漁港)	県・市	H23～H32	着手済			【現状】 ・市内全22漁港(県営:6、市営: 16)の本復旧事業に着手 ・市営漁港における施設数(186 施設)ペースの着手率は99%→ 施設全部の使用を開始した施設 は163施設(一部の使用を開始し た施設を含めると174施設) ・未発注の施設は、防潮堤工事 と関連している施設であり、発注 の時期を見合わせている。 ・県において、大船渡漁港海岸と 綾里漁港海岸の完了時期をそ れぞれH31、H32まで延伸。 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要 がある																			水産課
追 ◎	H	漁港施設機能強化 事業【再掲】	地盤沈下被害を受けた千歳、扇洞、吉 浜、増館、小壁、泊、鬼沢、小石浜、砂子 浜、野野前、小路、合足、長崎、蛸ノ浦、 泊里、基石の市営全16漁港の用地のか さ上げ	市	H24～H29	着手済		有	【現状】 ・測量・設計委託業務終了 ・全16漁港のうち全漁港で工事 着手済→13漁港(扇洞、基石、 鬼沢、小壁、千歳、増館、小路、 長崎、合足、小石浜、砂子浜、泊 里、吉浜)が終了 【課題】 ・災害復旧工事など関連事業と の調整が必要																			水産課
施策エ 上水道・下水道を早期に復旧します。																												
11 ◎	H	水道施設復旧事業	・破損配水管、給水設備などの布設替 え・修理 ・破損給水設備の修理・交換 ・電気計装設備・ポンプ設備の修理・交 換(上水道) ・土地区画整理事業などに伴う送配水管 の布設替え ・防災集団移転促進事業で整備する住 宅団地への配水管の布設など ・テレメーター設備の更新(簡易水道)	市	H23～H30	着手済	4	※有	【現状】 ・応急仮復旧は終了。 ・土地区画整理事業区域内及び 防潮堤、道路の嵩上げ等に対応 した送配水管布設を実施中 ・防災集団移転に伴う住宅団地 への配水管布設工事は28年度 で完了 【課題】 ・津波浸水区域などの具体的な 土地利用が確定後、事業を実施 する必要がある	2,398,314	1,775,208		25,900	167,532	429,674	155,850	175,632	25,554	115,722	171,756	564,201	425,752	438,097	224,750	101,000	水道事業所 簡易水道事 業所		
12 △	H	水道施設整備事業	・既存施設の耐震化及び改修 ・既存管の耐震管への更新、設備の更 新など ・地盤かさ上げに伴う送配水管の布設替 え	市	H24～H32	着手済	4		【現状】 ・簡易水道事業分は平成24年度 から、上水道事業分は平成25年 度から着手済 【課題】 ・津波浸水区域などの具体的な 土地利用が確定後、実施計画を 検討する必要がある	2,381,946			1,802,300	560,567	19,079		2,457	86,569	124,412	225,717	318,131	413,300	404,260	346,400	460,700	水道事業所 簡易水道事 業所		

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)										担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
13 ◎	H	公共下水道及び都市下水路災害復旧事業	市	H23～H28	着手済	4		【現状】 《大船渡浄化センター》 ・日本下水道事業団に委託して事業実施 ・生物処理は平成24年1月より開始 ・平成25年3月に本復旧工事終了 ・平成28年度：場内整備工事実施予定 《管渠施設》 ・流下機能に支障が生じる重大な損傷なく供用中 ・道路の嵩上げなど土地利用計画との調整を図りながら復旧を進めている <u>平成28年度は、小規模修繕を4箇所で実施している</u> 《都市下水路》 ・平成24年11月に桜場都市下水路水門工事終了 ・新田都市下水路復旧工事 平成24年度：実施設計 平成25～26年度：復旧工事施工 平成27年3月に工事終了 ・平成28年度：盛東部都市下水路水門補修予定 【課題】 ・特になし	1,819,116	1,705,251		19,100	94,765		694,527	895,467	100,683	94,602	4,401	29,436					下水道事業所
追2 ◎	H	公共下水道整備事業	市	H24～H28	着手済	4	有 ※有	【現状】 《盛川左岸幹線推進工事》 ・平成26年度：3月に工事終了 ・平成27年3月から赤崎町上三区地区で下水道の供用を開始 《大船渡駅周辺地区土地区画整理事業下水道計画策定》 平成26年度：12月に業務終了 ・上記計画策定後に土地区画整理事業と一体的に実施する工事などは、別事業に移管 《新田都市下水路嵩上げ工事》 ・平成26年度：3月に工事終了 《防災集団移転促進事業関連下水道工事》 ・大船渡北地区 平成26年度：10月に工事終了 ・下船渡地区 平成26年度：9月に工事終了 ・赤崎南地区 平成25年度：実施設計 平成27～28年度：整備工事施工 <u>平成28年度：実施設計</u> 《下水道台帳再整備》 平成27年度：3月に業務完了 《公共下水道（蛸ノ浦地区漁業集落排水施設）接続》 平成27年度：3月に <u>実施設計</u> 業務完了 【課題】 ・まちづくり関連事業などとの調整を図りながら、事業を実施する必要がある	<u>1,235,324</u>			<u>29,200</u>	<u>968,559</u>	<u>237,565</u>		10,047	162,652	509,942	285,269	<u>267,414</u>					下水道事業所

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)										担当課		
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
14 ◎	H	漁業集落排水施設 復旧事業						【現状】 《蛸ノ浦》 ・国土交通省から無償で借り受けた汚水処理設備(MBR施設)により供用 ・MBR施設の改良により平成25年3月に本復旧工事終了(将来的には公共下水道に接続予定) 《砂子浜・小石浜・千歳》 ・平成24年4月に本復旧工事終了 《根白》 ・国土交通省から無償で借り受けたMBR施設により供用 ・平成24年9月に本復旧中の施設に切替え供用開始 ・平成24年10月に本復旧工事終了 《その他》 ・平成25年度以降は、軽微な復旧事業を実施中 【課題】 ・特になし	709,861		549,801	7,500	152,560		169,449	516,769	9,257	2,695	1,191	10,500							下水道事業所
追3 ◎	H	漁業集落排水施設 整備事業						【現状】 ・清水地区：平成26年5月に工事完了 ・蛸ノ浦地区：平成27年6月に工事完了 ・永浜地区：平成28年5月に工事着手 【課題】 防災集団移転促進事業などと調整を図りながら事業を推進する必要がある	38,544				38,544				2,686	7,576	3,662	24,620						下水道事業所	
施策才 都市基盤施設の復旧・整備にあたっては、防災機能の向上に配慮するほか、広域幹線交通網の強化や防災拠点として有用な「道の駅」の適正配置など、重要施設などへの重点・優先投資を行います。																											
15 ○	H	防災・連携道路ネット ワークの整備						【現状】 三陸沿岸道路吉浜道路はH27年度供用開始済み、吉浜釜石道路は工事着手済み 国道397号津付道路供用開始 市道滝の沢線は用地交渉中 ・その他の路線などは、附帯工事などを発注したほか、事業計画を調整中 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある	220,100	132,000		88,100							20,100	75,000	70,000	55,000				建設課	
16 ◎	H	交通安全施設災害 復旧事業						【現状】 ・復旧事業は着手済 【課題】 ・土地利用計画や道路改良事業などと調整を図りながら、事業を実施する必要がある	59,322					59,322	6,998	6,885	6,979	6,461	6,999	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	建設課		
17 △	H	被災都市公園修繕 事業						【現状】 ・盛川河川敷公園災害復旧工事終了 ・諏訪前・石橋前公園災害復旧工事終了 【課題】 ・津波浸水区域であることから、周辺の整備と調整する必要がある	44,715					44,715	9,733	34,982									住宅公園課		
18 △	H	災害対応強化都市 公園事業						【現状】 ・整備予定地に応急仮設住宅が建設されている 【課題】 ・整備が応急仮設住宅撤去後となる	495,000	247,500				247,500						100,000	100,000	100,000	195,000	住宅公園課			

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	事業費(千円)	全体計画					事業費(千円)										担当課		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
19 ○	H	メモリアル公園等整備事業	犠牲者の追悼、鎮魂や、地域の防災拠点としての機能を兼ね備えたメモリアル公園などの整備	県・市	H23～H30	検討中		【現状】 ・公園整備のためのワークショップ開催準備 【課題】 ・周辺街区との機能連携	238,548				190,838	47,710							28,950	209,598			市街地整備課 防災管理室		
20 ◎	H	防災センター整備事業	防災拠点施設である防災センターの整備 ・市民の安全で安心な暮らしを守り、さまざまな災害に確実に対処する防災活動及び防災教育の拠点施設として整備	市	H23～H29	着手済	3	【現状】 ・平成24年度：建設用地選定 ・平成25年度：測量・基本設計完了 ・平成26年度：用地取得・用地造成 ・平成27年度：用地造成・建設工事 ・平成28年度：建設工事・通信設備工事・備品購入 【課題】 ・震災復興事業による工事費高騰及び人手不足	2,437,585			2,360,900		76,685			48,579	267,742	330,354	1,790,910					防災センター 建設推進室		
21 ◎	H	衛生センター復旧事業	被災した衛生センター施設・機器の復旧	気仙広域連合	H23	実施済		【現状】 ・工事終了 【課題】 ・特になし	1,337,847	1,058,974				278,873	1,337,847										気仙広域連 合衛生課		
施策力 道路を盛土構造とすることなどについて、防災上の効果を十分に検討したうえで整備を図るほか、災害時に集落が孤立しないよう代替路線を整備・確保します。																											
○	H	道路新設・改良事業【再掲】	高台や防災拠点へのアクセス道路、災害時の避難路、緊急車両が進入できない狭隘道路、地盤沈下により冠水する道路、浸水区域内のまちづくりと一体となった道路などの整備 ・多重防災型まちづくり推進事業による県道整備(岩手県復興計画) ・三陸復興道路整備事業による県道整備(岩手県復興計画) 主要地方道大船渡広田陸前高田線 主要地方道大船渡綾里三陸線 県道崎浜港線 県道基石海岸線 ・市道沢田宮野線、永沢線、峰岸線、吉浜漁港線、野々田川口線ほか	県・市	H23～	着手済	有 ※有	【現状】 県道：道路計画について用地測量などを実施中 市道：20路線の測量設計・工事発注済、8路線で工事終了 ・道路計画策定事業に着手済 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある ・三陸沿岸道路は集中復興期間終了後の財源が未確定 ・復興交付金事業は、復興計画期間終了後も事業が継続することが見込まれるが、財源が未確定																	建設課		
施策キ 鉄道施設については、関係自治体などとの連携・協力のもとに、災害への対応や公共交通サービスの水準、将来を見据えた交通システムの構築などに関して幅広い検討を行いながら、できるだけ早期の復旧・整備を目指します。																											
22 ◎	S	路線バス運行事業	市民の移動手段を確保するため路線バスを運行 ・日頃市線、基石線、綾里外口線、綾里線、外口線、丸森立根線、立根田谷線	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・平成27年4月1日より、綾里外口線、丸森立根線、立根田谷線、基石線、日頃市線の5路線の運行(日頃市線の運行再開) (基石線の本数を増やして運行) (綾里線、外口線を綾里外口線に一本化) ・デマンド交通実証実験運行開始により、平成27年10月1日から日頃市線運休 【課題】 ・高台移転先などへの路線開設を検討する必要がある ・路線バスダイヤ改正に伴う交通事業者との協議 ・利用の少ない路線への今後の対応	383,948	180,322	16,096		20,962	166,568	71,163	31,707	53,491	30,227	28,974	32,386	34,000	34,000	34,000	34,000	企業立地港湾課		

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)											担当課			
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
追4 ○	S	大船渡市コミュニティバス事業	被災者向けコミュニティバスの実験運行 (住居の高台移転地や応急仮設住宅地と路線バスルートの接続など)	市	H24～	着手済	2	※有	【現状】 ・平成26年3月に「大船渡市総合交通ネットワーク計画」及び「コミュニティバスの実証実験に係る事業実施計画」を策定 ・平成27年10月1日～日頃市地区デマンド交通実証実験運行開始、 <u>継続実施中</u> ・平成27年11月5日～患者輸送バス一般乗車実証実験(綾里、越喜来地区)、 <u>継続実施中</u> ・平成27年11月20日～平成28年3月31日、タクシーチケット配布実証実験 <u>実施</u> (三陸地区及び日頃市地区を除く) 【課題】 ・関係機関との調整 ・持続可能な公共交通体系の構築	112,649					90,119	22,530					16,107	11,942	38,669	19,999	25,932				企業立地港湾課
23 ◎	S	震災緊急生活交通確保事業	被災により県立病院が機能不全となった市町について、県が広域生活路線バスを運行し、被災住民の県立病院などへの移動手段を確保 ・陸前高田市内～県立大船渡病院	県	H23	実施済		【現状】 ・無料バス運行(平成23年4月～7月)：陸前高田市内～県立大船渡病院 ・平成23年8月以降は、事業者によるバス路線運行に移行 【課題】 ・特になし	1,543		1,543				1,543												企業立地港湾課		
24 ◎	S	三陸鉄道南リアス線代替バス運行事業	三陸鉄道の復旧まで代替バスを運行 ・釜石市上大畑～県立大船渡病院	岩手県交通	H23～H25	実施済		【現状】 ・釜石・大船渡線を運行している ・沿線市などの負担金拠出を予定していたが、国庫補助による運行に切り替えた ・三陸鉄道南リアス線の全線開通により終了 【課題】 ・特になし																			企業立地港湾課		
25 ◎	H	JR大船渡線の復旧事業	JR大船渡線の復旧に向けた沿線自治体、関係機関との整備方針の協議・検討	JR	H23～	着手済	4	【現状】 ・復興計画に基づき、復興調整会議等で関係機関と協議 ・BRTによる仮復旧を陸前高田市及び気仙沼市とともに受け入れ(平成24年10月) ・BRTについては、専用道化工事を経て、平成25年3月から運行開始 ・平成25年9月からは専用道が小友駅付近まで延伸されたほか、碓石海岸口駅も設置 ・平成26年2月にJRから高台ルート移設案に係る復旧費用が示された ・平成27年6月5日、7月24日に大船渡線沿線自治体首長会議が開催され、JR東日本よりBRTによる本復旧方針が示される。 ・JR大船渡線の今後のあり方を考える懇談会を開催し、意見集約を実施(4回開催) ・平成27年12月5日大船渡魚市場前駅開設 ・平成27年12月16日、JR大船渡線本復旧方針等を決定、12月18日、JR東日本に要望書を提出 ・平成27年12月25日第3回大船渡線沿線自治体首長会議開催、BRTによる本格復旧の受け入れに合意 【課題】 ・利便性の向上等に関する市民要望の実現	2,056						112	1,944		133	112	1,319	407	85							企業立地港湾課
26 ◎	H	三陸鉄道復旧支援事業	三陸鉄道の早期再開に向け復旧費用の一部を支援 ・南リアス線延長：37km ・北リアス線延長：71km ・南リアス線被害箇所数：247 ・北リアス線被害箇所数：70 ※市負担は南北リアス線の復旧分	市	H23～H26	実施済		【現状】 ・復旧工事着手済 ・平成25年4月に部分開通(盛～吉浜間) ・平成26年4月に全線運行再開 【課題】 ・沿線自治体の負担金の拠出 ・ふれあい待合室の運営	1,431,357		963,565				467,792	143,990	510,068	681,030	96,269								企業立地港湾課		

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
27 ◎	H	岩手開発鉄道の復旧支援事業	岩手開発鉄道の復旧費用の一部を支援 ・補助率：国1/4、市1/4	市	H23	整理・統合等		【現状】 ・岩手開発鉄道において、国と市の補助・支援から他の補助金活用に切り替えた 【課題】 ・特になし																	企業立地港湾課	
方針② 土地利用のあり方を検討のうえ見直します。																										
施策ア それぞれの被災地域の特性を考慮した土地利用計画を定めます。																										
28 ◎	S	復興計画策定等支援事業	被災地の被災状況調査の実施や復興計画策定に係る市の取り組みなどへの支援	国	H23	実施済		【現状】 ・復興計画の策定や防災集団移転促進事業などまちづくり事業の取り組みに対する支援を受けた 【課題】 ・特になし	200,000	200,000					200,000											復興政策課
追5 ◎	S	復興計画推進事業	早期復興に向け、復興計画の積極的な推進と適正な進捗管理を図る	市	H24～H32	着手済	2	有 ※有	50,610					39,603	11,007		7,350	12,285	8,576	9,007	13,392					復興政策課
追6 ◎	S	復興関連工事発生土対策推進事業	復興関連工事に係る土砂の需給調整など関係する対策を推進	県・市	H25～	着手済	4	※有	238,656			158,796		63,888	15,972			37,692	152,740	37,387	10,837					市街地整備課
29 ◎	S	都市計画マスタープラン策定事業	都市計画法に基づき、災害に強いまちづくりを目指し、市の都市計画に関する基本的な方針を策定 ・目指す都市像及び地域別の整備方針 ・都市施設の整備方針	市	H23～H27	実施済		※有	37,257					29,805	7,452		5,565	16,380		15,312						土地利用課
追7 ◎	S	被災地復興のための土地利用計画策定促進事業	多重防災型の津波防災対策に基づく、浸水区域（住居移転跡地）を中心とした土地利用計画や新たなまちづくり構想などを策定	市	H24～	着手済	4	※有	130,082					104,065	26,017			17,955		66,900	45,227					土地利用課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課				
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	財源内訳 地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
30 ○	H	土地区画整理事業						【現状】 ・緊急防災空地整備事業により 用地買収を実施済 ・平成25年8月事業計画認可 ・平成26年5月30日第1回仮換地 指定 ・下水道整備事業協定議決 ・平成26年8月事業計画(第1回 変更)認可 ・平成26年8月～平成27年3月第 2～8回仮換地指定 ・平成27年7月事業計画(第2回 変更)認可 ・平成27年4月～平成28年3月第 9～22回仮換地指定 ・平成28年4月～9月第23～27回 仮換地指定 【課題】 ・関係機関や権利者などとの調 整	23,487,963		585,163		17,544,751	5,358,049				775,707	836,099	3,471,980	5,045,824	4,943,500	5,066,812	2,801,513	539,695	6,833	市街地整備課		
追8 ◎	H	大船渡駅周辺地区 下水道事業	大船渡駅周辺地区(被災市街地土地区 画整理事業区域内)の下水道施設の早 期供用を図るため、次の整備を実施 ・大船渡駅周辺地区内面積約36.1ha ・污水管 φ 150～250 L=9,943.9m ・汚水人孔小型～1号人孔 N=338箇所	市	H26～H30	着手済	4	※有	【現状】 ・UR都市再生機構と平成26年6 月24日業務委託契約締結 【課題】 土地区画整理事業と津波復興拠 点整備事業との調整を図りなが ら事業を実施する必要がある	1,662,532				1,330,025	332,507				173,312	455,000	397,978	636,242				市街地整備課			
追9 ◎	H	津波復興拠点整備 事業	既往最大津波に対しても都市機能を維 持するための拠点市街地の整備 ・復興拠点の施設計画及び都市計画の 決定 ・津波防災拠点施設、津波復興拠点施 設、特定業務施設、公益的施設などの 整備	市	H23～H29	着手済	4	有 ※有	【現状】 《大船渡地区》 ・先行整備地区の用地買収済 ・平成26年3月28日にエリアマネジメ ント・パートナーとして大和リース㈱ と協力協定締結 ・先行整備地区の盛土造成工事完 了(平成26年3月) ・平成26年5月7日予定借地人決定 ・平成26年6月3日事業計画変更認 可 ・平成26年7月31日官民連携まちづ くり協議会設立 ・平成27年3月31日津波防災拠点施 設等基本設計完了 ・拡大地区の用地買収完了 ・平成27年4月30日特定業務施設用 地予定借地人決定 ・平成27年11月20日津波防災拠点 施設等実施設計の契約締結 ・平成27年12月15日株式会社キャッ セン大船渡を設立 ・平成28年2月9日まちなか再生計画 の認定 ・先行地区内の公共施設(道路、交 通広場等)の工事完了(平成28年2 月末) ・平成28年3月11日事業計画変更認 可 【課題】 ・関係機関や権利者などとの調整	6,069,372				3,892,940	2,176,432			91,095	1,148,048	2,506,180	190,645	1,232,940	900,464						市街地整備課
追10 ◎	S	大船渡駅周辺の産 業誘致・振興に向け た調査事業	大船渡駅周辺地区を対象に市街地の再 整備に係る諸事業と整合を図りながら、 魅力ある新たなまちづくりと産業振興を 目指し、市民や来訪者にとって価値のある ブランドを構築するための調査	市	H24	実施済		※有	【現状】 ・事業終了 【課題】 ・津波復興拠点整備事業への反 映 ・民間事業者との共通理解	35,280					28,224	7,056		35,280								環境未来都 市推進室			
31 ○	H	小規模住宅地区等 改良事業	不良住宅の集合など、生活環境の整備 が遅れている地区での住宅などの整備 ・不良住宅の買収除去 ・改良住宅の建設 ・公共施設、地区施設の整備	市	H23～	整理・統合等			【現状】 ・他の住宅再建関連事業の進捗 に伴い、実施する可能性が低く なった 【課題】 ・特になし																	住宅公園課			
施策イ 沿岸地域を中心とした住宅の高台移転や宅地のかさ上げなどに伴い、移転先地域なども含めた複数のエリアで土地利用のあり方を検討し、用途を定めます。																													

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
									国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
◎	H	防災集団移転促進事業【再掲】	市	H23～H29	着手済		有	【現状】 ・全21地区において事業実施中 ・うち20地区(大船渡地区、峰岸地区、神坂地区、細浦地区、小細浦地区、小河原地区、梅神地区、門之浜地区、泊里地区、佐野地区、中赤崎地区の一部、清水地区、蛸ノ浦地区、田浜地区、港・岩崎地区、泊地区、浦浜南地区、浦浜仲・西地区、浦浜東・甫嶺地区、崎浜地区)で団地整備工事が完了し、宅地を引渡すとともに、住宅移転費用の補助、被災跡地買取りを実施している 【課題】 ・事業の早期実施																		復興政策課 市街地整備課
○	H	土地区画整理事業【再掲】	市	H23～H32	着手済		有 ※有	【現状】 ・緊急防災空地整備事業により用地買収を実施済 ・平成25年8月事業計画認可 ・平成26年5月30日第1回仮換地指定 ・下水道整備事業協定議決 ・平成26年8月事業計画(第1回変更)認可 ・平成26年8月～平成27年3月第2～8回仮換地指定 ・平成27年7月事業計画(第2回変更)認可 ・平成27年4月～平成28年3月第9～22回仮換地指定 ・平成28年4月～9月第23～27回仮換地指定 【課題】 ・関係機関や権利者などとの調整																		市街地整備課
追9 ◎	H	津波復興拠点整備事業【再掲】	市	H23～H29	着手済		有	【現状】 《大船渡地区》 ・先行整備地区の用地買収済 ・平成26年3月28日にエリアマネジメント・パートナーとして大和リース㈱と協力協定締結 ・先行整備地区の盛土造成工事完了(平成26年3月) ・平成26年5月7日予定借地人決定 ・平成26年6月3日事業計画変更認可 ・平成26年7月31日官民連携まちづくり協議会設立 ・平成27年3月31日津波防災拠点施設等基本設計完了 ・拡大地区の用地買収完了 ・平成27年4月30日特定業務施設用地予定借地人決定 ・平成27年11月20日津波防災拠点施設等実施設計の契約締結 ・平成27年12月15日株式会社キャッセン大船渡を設立 ・平成28年2月9日まちなか再生計画の認定 ・先行地区内の公共施設(道路、交通広場等)の工事完了(平成28年2月末) ・平成28年3月11日事業計画変更認可 【課題】 ・関係機関や権利者などとの調整																		市街地整備課
○	H	小規模住宅地区等改良事業【再掲】	市	H23～	整理・統合等			【現状】 ・他の住宅再建関連事業の進捗に伴い、実施する可能性が低くなった 【課題】 ・特になし																		住宅公園課

事業 区分		事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課				
										事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
											国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
○	H	漁村集落復興事業【再掲】	漁業集落の地盤かさ上げ、集落道整備、水産用地造成などにより防災機能を強化します。	市	H25～H28	着手済		有 ※有	【現状】 ・浦浜地区の集落嵩上げ工事に着手(平成26年12月契約) ・浦浜地区(上記地域を除く)及び泊地区は測量調査と設計を実施中。崎浜地区は工事着手。 ・綾里地区は1期工事完了。2期工事設計中。 【課題】 ・事業の早期実施																					水産課
施策ウ 災害危険地域などについては、住民との合意形成のもと、住宅などの建築を制限します。																														
◎	H	防災集団移転促進事業【再掲】	居住に適当でないと思われる区域内にある住居の集団移転の促進 ・住民の意向を踏まえて移転促進区域を設定するほか、住宅団地の整備、移転者に対する助成などを行う ・住宅団地の規模は5戸以上(移転しようとする住居の数が10戸を超える場合には、その半数以上の戸数) ・土地利用にあたっては、所有者の意向を確認しながら遊休農地の活用を図る ・移転後の跡地については、再び住宅が建設されて危険が生じることのないよう、条例により建築基準法第39条の規定による災害危険区域として指定する	市	H23～H29	着手済		有	【現状】 ・全21地区において事業実施中 ・うち20地区(大船渡地区、峰岸地区、神坂地区、細浦地区、小細浦地区、小河原地区、梅神地区、門之浜地区、泊里地区、佐野地区、中赤崎地区の一部、清水地区、蛸ノ浦地区、田浜地区、港・岩崎地区、泊地区、浦浜南地区、浦浜仲・西地区、浦浜東・南嶺地区、崎浜地区)で団地整備工事が完了し、宅地を引渡すとともに、住宅移転費用の補助、被災跡地買取りを実施している 【課題】 ・事業の早期実施																					復興政策課 市街地整備課
方針③ 情報通信基盤の整備を進めます。																														
施策ア 災害時において、確実に情報収集・発信ができる環境を整備します。																														
32 △	S	おおふなとさいがいエフエム運営事業	震災後、ライフラインや災害復旧活動、生活に関連した各種情報をエフエムラジオで放送	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・平成23年3月31日に開局し、原則月～金・1日3回(土・1回)、概ね2時間枠で放送→平成25年3月30日閉局 【課題】 ・特になし(「防災まちづくり」の追1・防災市民メディア構築事業でFM放送機器の整備が終了)	12,262		11,450			812	5,584	6,678													秘書広聴課
33 ◎	H	地域情報通信基盤復旧事業	越喜来・吉浜地区ブロードバンド施設を修繕し、光サービスを提供 ・光ケーブルのルート設計 ・伝送路(光ケーブル)の再敷設：9.042m ・自営柱の再設置：9本	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・平成25年2月に工事終了 ・平成25年5月よりIRU契約に基づきサービス開始 【課題】 ・特になし	42,095	28,063				14,032	42,095														企画調整課
34 ○	H	地域情報通信基盤整備促進事業	光通信サービス未提供地域の解消に向けて、通信事業者への要望活動を展開	市	H23～	着手済	3		【現状】 ・平成23年11月より立根町大畑野地域でサービス開始 ・平成25年1月より末崎地区でサービス開始 ・平成25年3月より綾里地区でサービス開始 ・平成25年6月より日頃市地区のサービス区域拡大 【課題】 ・光サービス未提供地域(赤崎町合足、猪川町大野及び日頃市町一部地域)での整備促進																					企画調整課
追11 ◎	S	情報通信技術利活用事業	震災によりテレビ難視聴地域に転居した世帯のテレビ視聴に必要な施設整備を行うテレビ共同受信施設組合に対し、整備費用を助成(補助率：10/10)	市	H25～	着手済	2		【現状】 ・平成26～27年度において7組合に助成 【課題】 ・円滑な視聴に係る関連事業などとの調整	21,261	7,087				14,174			3,817	12,642	4,802									企業立地港湾課	
35 ◎	S	地上デジタル放送難視聴地域解消事業	テレビ共同受信施設組合などが行う、地上デジタル放送の難視聴(災害による影響を含む)を解消するための施設改修を支援	市	H23～H24	実施済			【現状】 ・対象8組合のうち、6組合が平成24年度までに工事を終了し、2組合が事業を中止した 【課題】 ・特になし	26,612	26,612					17,732	8,880												企業立地港湾課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課				
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
方針① 今回の災害による教訓を生かし、新たな防災体制を整えます。																													
施策ア 津波に対する防災体制を見直します。																													
1 ◎	S	地域防災計画整備事業	・被災を踏まえた地域防災計画の見直し・修正 ・災害時における各種応急対応マニュアル作成	市	H23～H32	着手済	1	有 ※有	【現状】 ・平成28年度内の修正に向けて計画の修正案を作成中。あわせて、避難所運営等の災害対応マニュアルを作成中。 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた避難対策の実施	27,955								3,885		739	4,731	14,600	1,000	1,000	1,000	1,000	防災管理室		
2 ○	H	集積木材等流出対策事業	大船渡港に野積保管され、津波による流出により被害を拡大する恐れのある木材などの流出防止対策 ・対象:コンテナ、木材など ・場所:大船渡港の物揚場または周辺施設 ・方法:固縛、フェンス、防潮堤、第2線堤などによる流出防止対策について、大船渡港に最適な方法を検討・実施	国・県	H23～	整理・統合等			【現状】 ・木材を取り扱っていた事業所が再建を断念したことから、大船渡港の木材取扱いが皆減 ・震災以降、原木を取り扱う事業所からの新規立地に係る問い合わせはない 【課題】 ・特になし																	企業立地港湾課			
3 ○	H	避難誘導標識等設置事業	・避難誘導標識、海拔表示、津波水位標（東日本大震災）等の整備 ※設置場所などは、今後のまちづくりにあわせて検討	市	H24～	着手済	1	※有	【現状】 ・太陽電池式津波避難誘導標識の設置を市内各所において実施中 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた整備	67,132									15,077	16,555	7,500	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	防災管理室		
○	H	防災・連携道路ネットワークの整備【再掲】	広域的な防災・連携機能を発揮するための三陸沿岸道路、国道、県道及びそれらと連絡する道路の整備 ・三陸縦貫自動車道吉浜道路 ・国道397号(早期改良) ・三陸縦貫自動車道新インター ・市道滝の沢線(三陸インター接続)	国・県・市	H23～	着手済			【現状】 三陸沿岸道路吉浜道路はH27年度供用開始済み、吉浜釜石道路は工事着手済み 国道397号津付道路供用開始市道滝の沢線は用地交渉中 ・その他の路線などは、附帯工事などを発注したほか、事業計画を調整中 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある																				建設課
施策イ 新たな住宅地造成などに関連して、土砂災害などに対する防災体制を見直します。																													
◎	S	地域防災計画整備事業【再掲】	・被災を踏まえた地域防災計画の見直し・修正 ・災害時における各種応急対応マニュアル作成	市	H23～H32	着手済		有	【現状】 ・平成28年度内の修正に向けて計画の修正案を作成中。あわせて、避難所運営等の災害対応マニュアルを作成中。 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた避難対策の実施																		防災管理室		
施策ウ 防災施設の充実・強化を図りながらも、防災施設に偏らない防災体制を整えます。																													
◎	H	防災センター整備事業【再掲】	防災拠点施設である防災センターの整備 ・市民の安全で安心な暮らしを守り、さまざまな災害に確実に対処する防災活動及び防災教育の拠点施設として整備	市	H23～H29	着手済			【現状】 ・平成24年度:建設用地選定 ・平成25年度:測量・基本設計完了 ・平成26年度:用地取得・用地造成 ・平成27年度:用地造成・建設工事 ・平成28年度:建設工事・通信設備工事・備品購入 【課題】 ・震災復興事業による工事費高騰及び人手不足																		防災センター建設推進室		
◎	S	地域防災計画整備事業【再掲】	・被災を踏まえた地域防災計画の見直し・修正 ・災害時における各種応急対応マニュアル作成	市	H23～H32	着手済		有 ※有	【現状】 ・平成28年度内の修正に向けて計画の修正案を作成中。あわせて、避難所運営等の災害対応マニュアルを作成中。 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた避難対策の実施																		防災管理室		

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)												担当課
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
4 ◎	H	防災行政無線整備 事業	市	H23～	着手済	2	※有	【現状】 ・デジタル防災行政無線→平成 25年5月にデジタル放送開始 ・上記整備内容:親局1、中継局 1、拡声子局197(うち再送信子 局5)、再送信局3、戸別受信機 は約11,000、監視カメラ1、移動 系防災行政無線50局 ・アナログ20局を応急復旧済 ・応急仮設住宅の難聴解消(2局) ・アナログ設備の撤去 ・一般住宅への戸別受信機、文 字表示装置付戸別受信機の無 償貸与などを実施 ・災害公営住宅に戸別受信機を 設置 【課題】 ・特になし	1,107,867	614,510		45,600	64,638	383,119	4,551	277,200	668,292	9,353	19,784	26,755	25,483	25,483	25,483	25,483	防災管理室		
5 ◎	S	災害時情報伝達方 法の整備	市	H23～H26	実施済			【現状】 ・災害対策本部に衛星電話を設 置 ・避難所に防災行政無線(移動 系)を整備(30局整備済) ・平成26年1月に特設公衆電話 回線を整備 ・平成26年6月に特設公衆電話 用の電話機を設置(11カ所) 【課題】 ・避難所などにおける通信機器 の管理	42,676	13,811			28,865	1,196	41,433		47								防災管理室		
追1 ○	H	防災市民メディア構 築事業	市	H24	実施済			【現状】 ・市内無線通信網構築工事終 了(WiMAX基地局) ・FM放送設備構築工事終了 【課題】 ・特になし	352,469	116,089				236,380		352,469									防災管理室		
6 ◎	H	潮位観測装置等整 備事業	市	H27～	検討中			【現状】 ・潮位観測装置の設置場所等 について検討 【課題】 ・設置場所となる防潮堤などが 未復旧	15,000					15,000							15,000				防災管理室		
7 ◎	H	防災行政無線復旧 事業	市	H23	実施済			【現状】 ・流失子局対応として田浜、崎 浜、鳥頭、岩崎に簡易子局を設 置し、仮復旧済 ・根白沿岸子局は復旧済 ・市役所本庁に親局を置き、三 陸支所、綾里・吉浜地域振興出 張所を直接専用回線で接続する 方法で復旧済 ・戸別受信機については貸与を 開始 ・応急仮設住宅への簡易子局に ついては整備終了 ・デジタル化への移行を踏まえ、 簡易方式で復旧 【課題】 ・特になし	8,239					8,239	8,239											三陸支所	
8 ◎	H	本庁舎改修事業	市	H23～H25	実施済			【現状】 ・非常用発電機及び内外壁を改 修済 【課題】 ・特になし	9,285						9,285	6,063	1,884	1,338							財政課		
9 ◎	H	三陸支所仮庁舎の 整備	市	H23	実施済			【現状】 ・仮庁舎として復旧済 【課題】 ・特になし	29,864			28,100		1,764	29,864										財政課		

事業区分		事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済細分	復興交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課		
										事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
											国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
10◎	H	コミュニティー消防センター新築事業	・立地場所の検討 ・消防屯所の建設 ・消防団組織(部の統合)の検討	市	H23～H29	着手済	4		【現状】 ・平成25年度:消防屯所・7棟分の用地を取得済 ・水門の遠隔操作化に関して、県の事業内容の変更により、当初予定していた7棟に遠隔操作設備設置について県と調整中につき、建設工事を見合わせていたが、遠隔操作設備は設けないこととし、再設計することに決定 ・平成26年度建設予定であった11棟に関しては、事業を繰越、建設することとし、平成27年度は計13棟建設予定であったが、候補地の変更等の理由から10棟完成した。 ・平成28年度は平成27年度予定していた残り3棟に加え、新たに3棟建設予定である。 【課題】 ・用地の確保	677,114	322,214	14,688	15,200		325,012				47,667	58,889	298,527	206,931	65,100					消防署
11◎	H	消防施設整備事業	消防用水利の新設・修繕	市	H23～H28	着手済	4		【現状】 ・被災地の復興状況、高台移転などに合わせた新設・修繕について検討中 ・平成25年度に防火水槽・4カ所を修繕済 ・平成26年度は消防水利標識45カ所及び消火栓3基を修繕済 ・平成27年度は消防水利標識33カ所を修繕 ・平成28年度は、水利標識78箇所及び消火栓23基を修繕予定。 【課題】 ・道路のかさ上げなど、他の復興関連事業の進捗状況に応じて進める必要がある	43,916	19,195			24,721			2,584	3,635	5,093	32,604					消防署			
12◎	H	消防庁舎(仮設)整備事業	被災した三陸分署綾里分遣所の機能を回復するため、仮設車庫・倉庫を建設	消防組合	H23	実施済			【現状】 ・仮設車庫について設置工事実施済 【課題】 ・綾里分遣所本庁舎の復旧	14,175	9,450				4,725	14,175									消防組合			
追2○	H	消防庁舎(三陸分署綾里分遣所本庁舎)復旧事業	津波で全壊した三陸分署綾里分遣所本庁舎の復旧	消防組合	H25～H28	実施済			【現状】 ・建設工事終了 【課題】 ・特になし	145,533	73,633				71,900			24,800	9,504	事故繰越	111,229					消防組合		
13○	H	消防救急無線施設・設備整備事業	アナログ式の消防救急無線施設をデジタル化し、機能強化を図るとともに、消防指令センターを整備	消防組合	H23～H24	実施済			【現状】 ・指令台及び中継局設置工事終了 【課題】 ・特になし	1,411,557	941,037				470,520	2,037	1,409,520								消防組合			
14○	H	林野火災用活動拠点広場整備事業	被災した三陸空中消火補給基地ヘリコプター離着陸用広場を復旧	消防組合	H23	実施済			【現状】 ・修繕工事終了 【課題】 ・全面アスファルト舗装化、ヘリコプター離発着時のダウンウォッシュによる応急仮設住宅、駐車車両などへの影響	9,135	6,090				3,045	9,135									消防組合			
施策エ 高齢者や障がい者など災害弱者に十分配慮した防災体制を整えます。																												

事業区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済細分	復興交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	財源内訳 地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
15 ○	S	災害時要援護者支援制度	要援護者に係る情報の収集・共有、避難支援プランなどの作成	市	H23～	着手済	4	【現状】 ・平成25年8月に、国から示された「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に基づく支援プランの作成に着手 ・災害時における要援護者などに係る情報の収集・共有方法についてシミュレーションを実施 ・要援護者台帳・マップの作成に係るシステム導入事業が平成26年3月に終了 ・平成27年3月に市地域防災計画が修正されたことを受け、避難行動要支援者に同意書を送付・回収(平成27年3月～4月) ・同意書提出者の台帳整備に着手 【課題】 ・同意書提出者の台帳整備 ・関係機関への名簿提供	5,137		4,894			243			4,894	81	81	81						長寿社会課 地域福祉課
16 ○	S	福祉避難所の設置・運営	福祉避難所として利用可能な施設との協定の締結	市	H23～	着手済	4	【現状】 ・候補施設選定向け、要援護者の分布状況などの調査作業→基盤となる要援護者台帳・マップの作成に係るシステム導入事業が平成26年3月に終了 ・福祉サービス事業等を行っている施設管理者等と平成27年3月に、福祉避難所指定に係る意見交換会を実施 ・平成28年10月14日施設を管理している法人と協定締結を行う。 (8団体、26事業所) 【課題】 ・支援対象者の範囲の確定と把握																		地域福祉課 長寿社会課
施策オ 建築物の構造を災害に強いものにするよう促します。																										
○	S	津波被災地域建築物安全対策事業【再掲】	建築基準法第39条に基づく災害危険区域の指定 ・建築物の構造、地盤高などによる建築規制 ・都市防災の方針(地区計画などによる建築物の構造検討など)	市	H23～H26	実施済		【現状】 ・土地利用計画や防災集団移転促進事業と調整を図りながら、津波浸水シミュレーションに基づく災害危険区域設定の考え方、規制内容などを周知 ・災害危険区域に係る条例を制定(平成25年4月1日施行)→平成25年9月から地区別説明会を開催→市内26地区全て告示済、平成26年10月10日完了 【課題】 ・特になし																	土地利用課	
◎	H	学校施設防災機能強化事業【再掲】	旧耐震基準の学校施設の耐震補強工事などを実施 ・盛小学校:屋内運動場 ・末崎小学校:校舎 ・蛸ノ浦小学校:校舎、屋内運動場 ・猪川小学校:屋内運動場 ・日頃市小学校:校舎、屋内運動場 ・大船渡北小学校:校舎、屋内運動場 ・綾里小学校:屋内運動場 ・第一中学校:屋内運動場 ・綾里中学校:校舎 ・越喜来中学校:校舎、屋内運動場	市	H23～H30	着手済		【現状】 ・「大船渡市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、対象施設の耐震第2次診断及び耐震化設計を完了 ・これまでに盛小学校屋内運動場、末崎小学校校舎、猪川小学校屋内運動場、日頃市小学校校舎及び屋内運動場、大船渡北小学校校舎及び屋内運動場、第一中学校屋内運動場、越喜来中学校校舎及び屋内運動場の耐震改修工事を完了 ・現在、綾里小学校屋内運動場、綾里中学校校舎の耐震改修工事を施工中 ・蛸ノ浦小学校は、赤崎小学校との学校統合方針のため、耐震改修工事を見送り 【課題】 ・特になし																	生涯学習課	
施策カ 高層の避難場所を確保するなど、沿岸部などの防災機能を強化します。																										

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)											担当課		
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	財源内訳 地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
17 △	S	津波避難ビル等の 指定	浸水想定区域内において構造的要件を 満たす施設を津波避難ビルなどとして指定	市	H23～	検討中		【現状】 ・高台への迅速な避難を基本とし、津波浸水区域内の土地利用が具体化した時点で避難困難地域の設定について検討する ・大船渡地区津波復興拠点整備事業により整備される施設の指定について検討中 【課題】 ・浸水区域の復興状況を踏まえて検討する必要がある																				防災管理室
○	H	道路新設・改良事業 【再掲】	高台や防災拠点へのアクセス道路、災害時の避難路、緊急車両が進入できない狭隘道路、地盤沈下により冠水する道路、浸水区域内のまちづくりと一体となった道路などの整備 ・多重防災型まちづくり推進事業による県道整備(岩手県復興計画) ・三陸復興道路整備事業による県道整備(岩手県復興計画) 主要地方道大船渡広田陸前高田線 主要地方道大船渡綾里三陸線 県道崎浜港線 県道碓石海岸線 ・市道沢田宮野線、永沢線、峰岸線、吉浜漁港線、野々田川口線ほか	県・市	H23～	着手済	有 ※有	【現状】 県道：道路計画について用地測量などを実施中 市道：20路線の測量設計・工事発注済、8路線で工事終了 ・道路計画策定事業に着手済 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある ・三陸沿岸道路は集中復興期間終了後の財源が未確定 ・復興交付金事業は、復興計画期間終了後も事業が継続することが見込まれるが、財源が未確定																			建設課	
方針② 防災教育や防災訓練を積極的に推進します。																												
施策ア 今回の災害の記録を保存するとともに、津波に関する遺構やモニュメントを活用するなどして後世に伝えます。																												
18 ○	S	震災記録保存整理事業	震災の記録を後世へ伝承するとともに、防災対策に資するため、被害に関する写真や映像などを収集・保存・整理	市	H23～H25	実施済		【現状】 ・震災写真などのデータ化及び保存・整理事業終了(データ管理は継続) 【課題】 ・特になし	14,984					11,987	2,997			14,984										秘書広聴課
19 ○	S	災害誌編集事業	震災の被災状況や対応・経過に関する情報などを収集し、災害誌として編集	市	H26～H27	実施済		【現状】 ・平成27年7月に大船渡市東日本大震災記録誌を作成済 【課題】 ・特になし	12,564					10,050	2,514			5,250	7,314									防災管理室
20 △	S	防災教育事業	防災教育のための地域学習会の開催	国・県・市	H24～	着手済	1	【現状】 ・地域防災リーダー養成研修会を開催(県立福祉の里センターと共催) 【課題】 ・特になし	500						500					100	100	100	100	100	100		防災管理室 消防署	
21 ○	S	防災文化醸成事業	・小学校などで津波防災に関する出前講座などを実施 ・学校における津波と避難についての学習	県・市	H23～H26	実施済		【現状】 ・各校の災害対応マニュアルを見直すとともに、防災に関する学習を実施中 【課題】 ・児童生徒の心のケアに留意しながら実施する必要がある	1,172		1,162				10		372	400	400									学校教育課
施策イ 市民各層に対して防災に関する教育活動を実施します。																												
22 ○	S	防災マップ作成事業	新たな津波ハザードマップの作成	県・市 市民	H24～	実施済		【現状】 ・平成25年11月に津波ハザードマップを市内全戸に配布 【課題】 ・現時点においては、県の津波浸水想定データが示されていないため、今次津波の浸水実績などをベースにせざるを得ない→復興状況などを踏まえた見直しを予定	4,410					3,528	882			4,410										防災管理室

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
施策ウ 東日本大震災が発生した3月11日に、広く防災意識の高揚を図るための事業を実施します。																										
23 ◎	S	慰霊祭の開催	東日本大震災が発生した3月11日に慰霊祭・追悼式を開催	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・平成28年3月11日に岩手県と合同で追悼式を開催 【課題】 ・国の追悼式との調整	71,342		3,448		47,165	20,729	21,697	8,001	5,053	5,068	6,929	4,594	5,000	5,000	5,000	5,000	防災管理室	
24 △	S	防災訓練の実施	・防災訓練、津波避難訓練の実施(次の防災関連の日などを中心に適宜実施→5/24チリ地震津波、9/1防災の日、11/5津波防災の日、1/17防災とボランティアの日、3/11東日本大震災)	市 関係機関など	H24～	着手済	1	【現状】 ・平成28年10月23日に市防災訓練を実施予定 【課題】 ・復興事業の進捗や地域防災計画の見直し状況に応じた訓練項目を検討する必要がある	443					443				43		80	80	80	80	80	防災管理室	
施策エ 市内全域または地域ごとに防災訓練を実施します。																										
△	S	防災訓練の実施【再掲】	・防災訓練、津波避難訓練の実施(次の防災関連の日などを中心に適宜実施→5/24チリ地震津波、9/1防災の日、11/5津波防災の日、1/17防災とボランティアの日、3/11東日本大震災)	市 関係機関など	H24～	着手済		【現状】 ・平成28年10月23日に市防災訓練を実施予定 【課題】 ・復興事業の進捗や地域防災計画の見直し状況に応じた訓練項目を検討する必要がある																	防災管理室	
方針③ 地域コミュニティ機能の維持・強化を図ります。																										
施策ア 自主防災組織の育成・強化を支援します。																										
25 △	S	地域防災力強化推進事業	自主防災組織の育成・強化(結成促進、リーダー養成、連合会組織の結成など)	市	H24～	着手済	1	【現状】 ・自主防災組織などに対する説明会を開催 ・新たに結成した自主防災組織に本部旗、腕章を作成・交付→結成組織数:104(平成28年3月末現在) ・自主防災組織支援事業により防災資機材を整備した9組織に補助金を交付 【課題】 ・未結成地域の解消 ・活動が停滞している自主防災組織の活性化	8,277					8,277		73	895	927	882	780	1,180	1,180	1,180	1,180	防災管理室	
施策イ ボランティア組織の育成・強化を支援します。																										
26 ○	S	おおふなとボランティア活動連絡会支援事業(活動センター運営事業)	ボランティア組織の育成・強化の支援	社会福祉協議会	H23～	着手済	1	【現状】 ・支えあいまちづくり事業を実施中 ・平成24年度から復興ボランティアセンター運営補助事業を実施(平成28年度から、補助事業とせず、社会福祉協議会の通常のボランティア業務の中で実施。) 【課題】 ・被災者のニーズとボランティア活動のマッチング	50,343	22,500			5,343	22,500	5,000	7,900	6,400	6,048	4,995	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	地域福祉課 長寿社会課	
施策ウ 市民の自主的な地域づくり活動や拠点となる施設の整備などに対して支援します。																										
27 ○	S	市民活動支援事業	市民活動の活性化、公益団体などの連携及び行政との協働を図るため、さまざまな情報の提供、活動団体の相互交流の機会及び活動場所が提供できる施設の整備など	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・大船渡市市民活動支援協議会(構成団体:市・社会福祉協議会・NPO法人、平成25年9月設立)が、市民活動支援センターを開設→平成26年2月から市内商業施設内において本格稼働 【課題】 ・市民活動支援センターを中心とした市民活動のネットワーク強化	55,664					55,664			200	18,488	18,488	18,488					企画調整課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)											担当課	
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	財源内訳			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
28 ○	H	越喜来地区拠点センター建設事業	被災した市役所三陸支所を移転し、地区住民の避難所を兼ねた拠点センターとして整備	市	H24～	整理・統合等		【現状】 ・三陸支所(機能)については、三陸保健介護センターを改修し、業務を再開済→新たな施設は整備しない(地元復興委員会から同意を得ている) 【課題】																		三陸支所	
◎	S	地域公民館整備支援事業【再掲】	市内地域公民館132館のうち、被災した地域公民館34施設の修繕、改築あるいは移転新築などの整備を支援	地 域 公民館 市	H23～H28	着手済		【現状】 ・被災地域の意向を調査しながら対応(18地域について支援済→使用開始済) 【課題】 ・用地の確保が課題であり、地域との協議を十分に行う必要がある																		生涯学習課	
29 ◎	H	綾里地区コミュニティ施設災害復旧事業	綾里地区コミュニティ施設の補修	市	H23～H24	実施済		【現状】 ・復旧済 【課題】 ・特になし	15,717						15,717	7,616	8,101									三陸支所	
方針④ ライフラインや交通・物流などの機能を強化します。																											
施策ア 関係機関の協力のもと、重要施設などへの重点・優先投資を行いながら、これら機能の早期復旧体制を整えるとともに、再生可能エネルギーの活用など、非常時の応急的な生活を支える方策について検討します。																											
30 △	H	災害用物資備蓄事業	地域分散による備蓄品の配置、災害用物資の備蓄 ・備蓄品の配置:地区本部、自主防災組織など ・災害用物資の備蓄:毛布、簡易トイレ、水、非常用食料、発電機・照明器具など	市	H23～	着手済	1	【現状】 ・自主防災組織に対し、支援物資や郵便事業株の寄付金による防災資機材の整備を実施 ・日本赤十字社の支援により、中核的避難所など18ヵ所に防災倉庫を設置 【課題】 ・保管場所の確保 ・整備した資機材などの保守点検	27,063					21,311	5,752		20,255	684	627	747	750	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	防災管理室
31 △	S	災害時に関する協定の締結	各種団体との災害時における物資調達などに関する協定の締結 ・生活物資、燃料、資機材、要員	市 企業など	H23～	着手済	1	【現状】 ・平成28年4月にDCMホームマック株式会社と災害時物資供給協定を締結 【課題】 ・特になし																		防災管理室	
32 ○	H	NTT東日本復旧復興事業	今後拡大する生活圏の需要に対応した安定的通信サービスを提供 ・電力設備:重要通信ビルへの発電機などの設置 ・中継伝送路:内陸迂回ルートの確保 ・通信ビル:全壊、流失したビルの高台移設 ・三陸局舎の解体	NTT東日本	H23～	着手済	4	【現状】 ・三陸ビルの関連工事は、平成23年度に終了 ・三陸局舎の移設、大船渡局舎の設備浸水のための移設、局舎移設に伴う回線の切り替えは、平成24年度で終了 ・中継伝送路の内陸迂回ルートの確保も平成24年度で終了 【課題】 ・工事期間中の周辺環境への配慮 ・三陸局舎の解体工事は、地下埋設設備の関係から、まちづくりに合わせた施工が必要になる																			企業立地港湾課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)											担当課		
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	財源内訳			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
33 ○	H	再生可能エネルギー導入促進事業	市など	H23～H28	着手済	4	※有	【現状】 ・平成25年6月から、五葉山太陽光発電合同会社が五葉山麓に建設していた太陽光発電所が平成27年8月に完成し、本稼動を開始 ・平成25年9月に、気仙広域環境未来都市推進共同事業体が設計に関与した環境共生型木造復興住宅のモデル棟(3棟)が住田町に完成→11月にも復興住宅として陸前高田市に2棟完成 ・防災集団移転促進事業の進捗に合わせた木造復興住宅に係る説明会を平成26年5月に開催(市内全域対象)→大船渡町及び赤崎町を対象に平成26年7月に開催 【課題】 ・他の復興関連事業との調整 ・地元企業の参画促進 ・環境共生型木造復興住宅の生産体制の構築 ・気仙2市1町間の調整	6,075,307					6,060,805	14,502	19,445	18,809	1,612,006	4,405,856	18,300	891							環境未来都市推進室
追3 △	S	再生可能エネルギー導入促進事業 (住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金)	市	H25～H32	着手済	2		【現状】 ・補助金交付要綱を策定(平成25年4月1日施行) ・補助金申請相談及び受付を実施中 ・平成25年度交付決定件数:172件 ・平成26年度交付決定件数:107件 ・平成27年度交付決定件数:83件 【課題】 ・補助金制度の周知徹底	85,295					85,295				16,701	10,466	8,128	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	企画調整課	
施策イ 災害に備えた物資の備蓄や調達方法を強化します。																												
△	H	災害用物資備蓄事業【再掲】	市	H23～	着手済			【現状】 ・自主防災組織に対し、支援物資や郵便事業㈱の寄付金による防災資機材の整備を実施 ・日本赤十字社の支援により、中核的避難所など18ヵ所に防災倉庫を設置 【課題】 ・保管場所の確保 ・整備した資機材などの保守点検																			防災管理室	
△	S	災害時に関する協定の締結【再掲】	市 企業など	H23～	着手済			【現状】 ・平成28年4月にDCMホームマック株式会社と災害時物資供給協定を締結 【課題】 ・特になし																			防災管理室	
方針⑤ 広域的な観点を重視した災害時の応援・サポート体制を整えます。																												
施策ア 医療・福祉をはじめさまざまな分野において、市内外の多くの機関との連携による相互支援体制を確立します。																												
34 ◎	S	緊急時医療体制充実強化事業	県・市	H23～H25	実施済			【現状】 ・平成25年8月に県立大船渡病院におけるヘリポート建設工事が終了 【課題】 ・ドクターヘリ事業の円滑な運営に資する医療機関の相互協力などに向け、別組織・会議などにおいて引き続き連携を図る必要がある	170						170		1	169									国保年金課	

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手 細分	復 興 交付金	現状と課題	全体計画						事 業 費(千円)											担当課	
									事業費(千円)	財源内訳					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
										国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源													
35 △	S	災害時相互応援協定締結促進事業	静岡県浜松市、東京都板橋区、兵庫県宝塚市、鹿児島県大隅半島4市5町、山形県最上町などとの災害時相互応援協定締結を促進	市 関係市町村	H24～H28	着手済	2	【現状】 ・多くの自治体から職員派遣などについて支援をいただいている ・平成24年6月に板橋区、平成25年10月に山武市と連携協力・相互応援協定を締結 ・災害時相互応援協定を締結している自治体間で円滑な連絡体制の構築に努めた 【課題】 ・相互応援体制のあり方や内容についての調整	113					113			11	11	4	87							企画調整課
36 △	S	災害時の支援ネットワーク体制確立事業	銀河連邦構成市町及び友好都市間による、災害が発生した際の人的な支援ネットワーク体制の確立	市 関係市町村	H23～H28	着手済	4	【現状】 ・銀河連邦構成市町から協定に基づく支援をいただいている ・銀河連邦構成市町による災害時の対応形態について、本部（相模原市）で検討中（構成市町の災害発生時に本部が対応窓口となる体制を試行） 【課題】 ・窓口を一本化するなど、支援受入体制・事務の整備・効率化	560					560			50	50	230	230							企画調整課
37 △	S	復興支援から相互交流への展開事業	復旧・復興支援自治体との相互交流の促進	市 関係市町村	H23～H28	着手済	2	【現状】 ・銀河連邦構成市町間で物産や児童に係る相互交流が円滑に行われている ・平成24年6月に板橋区、平成25年10月に山武市と連携協力・相互応援協定を締結 ・平成26年12月に鎌倉市とパートナーシティ提携を結んだ ・震災後につながりができた多くの自治体と物産や防災関係の交流が生じている 【課題】 ・支援自治体との交流機会の創出	19,674				6,594	13,080	2,000	2,000	3,541	3,291	3,576	5,266							企画調整課
施策イ 環境未来都市構想を中心とした気仙2市1町の一層の連携推進をはじめ、三陸沿岸地域や岩手県内陸部の市町村など、自治体間の相互支援体制を強化します。																											
38 △	S	広域防災拠点整備事業	岩手県広域防災拠点配置計画の策定・広域防災拠点の位置や整備が必要となる設備、広域的な連携体制の構築などについて検討・整理	県	H24～H25	実施済		【現状】 ・県において、平成26年3月に「岩手県広域防災拠点配置計画」を策定済 【課題】 ・特になし																			防災管理室
39 ○	S	公共施設広域利用促進事業	気仙2市1町の利用可能な公共施設の相互利用について、広報紙やホームページなどにより広く市民に周知	市	H23～	着手済	2	【現状】 ・気仙2市1町の公共施設の相互利用については、大船渡市民文化会館や住田町運動公園などで実施→各市町において情報を提供 【課題】 ・特になし																			企画調整課
△	S	災害時相互応援協定締結促進事業【再掲】	静岡県浜松市、東京都板橋区、兵庫県宝塚市、鹿児島県大隅半島4市5町、山形県最上町などとの災害時相互応援協定締結を促進	市 関係市町村	H24～H28	着手済		【現状】 ・多くの自治体から職員派遣などについて支援をいただいている ・平成24年6月に板橋区、平成25年10月に山武市と連携協力・相互応援協定を締結 ・災害時相互応援協定を締結している自治体間で円滑な連絡体制の構築に努めた 【課題】 ・相互応援体制のあり方や内容についての調整																			企画調整課

事業 区分	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	着手済 細分	復興 交付金	現状と課題	全体計画						事業費(千円)										担当課		
									事業費(千円)	国庫支出金	県支出金	財源内訳 地方債	その他	一般財源	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
△	S	災害時の支援ネットワーク体制確立事業【再掲】	銀河連邦構成市町及び友好都市間による、災害が発生した際の人的な支援ネットワーク体制の確立	市 関係市町村	H23～H28	着手済		【現状】 ・銀河連邦構成市町から協定に基づく支援をいただいている ・銀河連邦構成市町による災害時の対応形態について、本部（相模原市）で検討中（構成市町の災害発生時に本部が対応窓口となる体制を試行） 【課題】 ・窓口を一本化するなど、支援受入体制・事務の整備・効率化																		企画調整課	
△	S	復興支援から相互交流への展開事業【再掲】	復旧・復興支援自治体との相互交流の促進	市 関係市町村	H23～H28	着手済		【現状】 ・銀河連邦構成市町間で物産や児童に係る相互交流が円滑に行われている ・平成24年6月に板橋区、平成25年10月に山武市と連携協力・相互応援協定を締結 ・平成26年12月に鎌倉市とパートナーシティ提携を結んだ ・震災後につながりができた多くの自治体と物産や防災関係の交流が生じている 【課題】 ・支援自治体との交流機会の創出																			企画調整課
○	H	再生可能エネルギー導入促進事業【再掲】	再生可能エネルギーの活用による地産地消型エネルギー産業を復興の基礎とした、先駆的な医療・福祉や生活支援サービスの展開による超高齢化社会に適した地域づくりの推進など、国が構想する「環境未来都市」の構築に向けて、気仙管内の市町や関連企業などと連携した調査・研究、事業化への取り組み	市など	H23～H28	着手済	※有	【現状】 ・平成25年6月から、五葉山太陽光発電合同会社が五葉山麓に建設していた太陽光発電所が平成27年8月に完成し、本稼動を開始 ・平成25年9月に、気仙広域環境未来都市推進共同事業体が設計に関与した環境共生型木造復興住宅のモデル棟(3棟)が住田町に完成→11月にも復興住宅として陸前高田市に2棟完成 ・防災集団移転促進事業の進捗に合わせた木造復興住宅に係る説明会を平成26年5月に開催（市内全域対象）→大船渡町及び赤崎町を対象に平成26年7月に開催 【課題】 ・他の復興関連事業との調整 ・地元企業の参画促進 ・環境共生型木造復興住宅の生産体制の構築 ・気仙2市1町間の調整																			環境未来都市推進室
施策ウ 災害時にすばやく対応できるボランティアネットワークを強化します。																											
○	S	市民活動支援事業【再掲】	市民活動の活性化、公益団体などの連携及び行政との協働を図るため、さまざまな情報の提供、活動団体の相互交流の機会及び活動場所が提供できる施設の整備など	市	H23～	着手済		【現状】 ・大船渡市市民活動支援協議会（構成団体：市・社会福祉協議会・NPO法人、平成25年9月設立）が、市民活動支援センターを開設→平成26年2月から市内商業施設内において本格稼動 【課題】 ・市民活動支援センターを中心とした市民活動のネットワーク強化																			企画調整課
○	S	おおふなとボランティア活動連絡会支援事業（活動センター運営事業）【再掲】	ボランティア組織の育成・強化の支援	社会福祉協議会	H23～	着手済		【現状】 ・支えあいまちづくり事業を実施中 ・平成24年度から復興ボランティアセンター運営補助事業を実施（平成28年度から、補助事業とせず、社会福祉協議会の通常のボランティア業務の中で実施。） 【課題】 ・被災者のニーズとボランティア活動のマッチング																			地域福祉課 長寿社会課